

令和元年度

## 事 業 報 告 書

社会福祉法人 善隣会

特別養護老人ホーム尚古園  
サテライト特養尚古園  
尚古園デイサービスセンター  
緑が丘デイサービスセンター  
サテライト尚古園デイサービスセンター  
グループホーム山径  
デイサービスセンター山径  
尚古園指定居宅介護支援事業所

# 園訓

- 一、より大切に
- 一、より優しく
- 一、より早く

## 目 次

### 法人本部

1. 善隣会の概要	1
2. 令和元年度事業報告	8
3. 運営組織	10
4. 法人教育・研修体系	12
5. 組織図	13

### 特別養護老人ホーム尚古園

1. 利用者生活支援状況	14
2. 年間行事予定	17
3. 職員研修状況	18
4. 施設実習受け入れ状況	19
5. 在宅サービス受け入れ状況	20
6. ボランティア受け入れ状況	21
7. 食事と栄養	22
8. ひまわり会（利用者の会）活動状況	24
9. ご家族との連携	25
10. 利用者の状況	26

### サテライト特養尚古園

1. 利用者生活支援状況	28
2. 年間行事	31
3. 職員研修状況	31
4. ボランティア受け入れ状況	32
5. 利用者の状況	33
6. 運営推進会議の開催	35

### 尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	36
2. 会議開催状況	38
3. 職員研修状況	38
4. ボランティア受け入れ状況	39
5. 実習受け入れ状況	39
6. 利用者の状況	40

緑が丘デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	42
2. 会議開催状況	43
3. 利用者の状況	43

サテライト尚古園ディサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	45
2. 会議開催状況	46
3. 職員研修状況	47
4. ボランティア受け入れ状況	47
5. 利用者の状況	47

グループホーム山径

1. 利用者生活支援状況	49
2. 会議開催状況	49
3. 年間行事	50
4. 職員研修状況	51
5. 利用者の状況	51
6. 運営推進会議の開催	52

デイサービスセンター山径

1. 利用者生活支援状況	54
2. 会議開催状況	55
3. ボランティア受け入れ状況	55
4. 利用者の状況	55

尚古園指定居家介護支援事業所

1. 重点目標	57
2. 給付管理状況	57
3. 職員研修等の状況	58

## 1、善隣会の概要

- (1) 沿革 昭和 49 年 9 月 社会福祉法人設立認可申請  
昭和 50 年 6 月 社会福祉法人善隣会 設立認可  
昭和 50 年 10 月 特別養護老人ホーム尚古園新築工事着工  
昭和 51 年 6 月 特別養護老人ホーム尚古園完成 事業開始 (50 床)  
日本自転車振興会助成、山梨県補助  
昭和 52 年 9 月 特別養護老人ホーム尚古園新館増床要望書提出  
昭和 53 年 4 月 特別養護老人ホーム尚古園新館増床認可  
昭和 53 年 11 月 特別養護老人ホーム尚古園新館工事着工  
昭和 54 年 6 月 特別養護老人ホーム尚古園新館竣工 (30 床)  
事業開始 (定員 80 名) 日本自転車振興会助成、山梨県補助  
平成 1 年 12 月 特別養護老人ホーム尚古園スプリンクラー設置  
日本自転車振興会助成、山梨県・甲府市補助  
平成 4 年 4 月 尚古園本館給湯給水設備改修、車両財団助成金 甲府市補助金  
平成 12 年 3 月 特別養護老人ホーム尚古園大規模修繕・拡張工事完成  
(国保・山梨県・甲府市補助金)  
平成 12 年 4 月 介護保険事業者指定 事業開始  
・介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム尚古園)  
・短期入所生活介護 (特別養護老人ホーム尚古園)  
・居宅介護支援事業 (尚古園指定居宅介護支援事業所)  
平成 13 年 3 月 尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径  
整備計画書提出  
平成 14 年 1 月 尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径  
創設工事着工  
平成 14 年 8 月 尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径  
創設工事竣工、国庫・山梨県補助金  
平成 14 年 11 月 介護保険事業者指定 事業開始  
・通所介護 (尚古園デイサービスセンター、定員 15 名)  
・認知症対応型共同生活介護 (グループホーム山径、定員 9 名)  
平成 15 年 4 月 尚古園デイサービスセンター定員 20 名に変更  
平成 15 年 10 月 尚古園デイサービスセンター定員 25 名に変更  
平成 16 年 3 月 介護保険事業者指定 事業開始  
・通所介護 (緑が丘デイサービスセンター、定員 8 名)  
平成 16 年 11 月 駐車場設置工事着工  
平成 17 年 1 月 駐車場設置工事完成  
平成 17 年 2 月 緑が丘デイサービスセンター定員 10 名に変更  
平成 17 年 11 月 緑が丘デイサービスセンター拡張工事完成  
平成 17 年 12 月 機械浴槽を設置 平成 17 年度年賀寄附配分金

平成 17 年 12 月	尚古園太陽光発電システム設置 新エネルギー財団・東京電力助成
平成 18 年 2 月	尚古園エレベーター改修、設置
平成 18 年 8 月	地域密着型サテライト特養尚古園選定
平成 18 年 10 月	特養尚古園ショート居室増床工事（8 床）
平成 18 年 12 月	ボイラー地上タンク設置、ボイラー改修工事
平成 18 年 12 月	地域密着型サテライト特養尚古園施設設備費、 甲府市助成金交付内定
平成 19 年 4 月	サテライト特養尚古園事業開始
平成 19 年 7 月	尚古園中央デイサービスセンター事業申請提出
平成 19 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター事業開始 サテライト特養尚古園短期入所生活介護申請（空床型）
平成 19 年 9 月	サテライト特養尚古園短期入所生活介護事業開始（空床型）
平成 20 年 7 月	特別養護老人ホーム尚古園建物・設備改修工事着工 財団法人車両競技公益資金記念財団補助事業
平成 20 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター競輪公益金補助事業により 福祉車両を整備
平成 20 年 11 月	サテライト特養尚古園土地・建物を自己保有資産とする
平成 21 年 4 月	デイサービス山径事業開始
平成 21 年 7 月	サテライト特養尚古園短期入所生活介護休止
平成 21 年 8 月	特別養護老人ホーム尚古園受水槽設置工事開始
平成 22 年 3 月	尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉 車両を整備
平成 22 年 8 月	サテライト特養尚古園スプリンクラー設備費、 甲府市助成金交付決定
平成 22 年 9 月	特別養護老人ホーム尚古園浴室棟増築工事完成
平成 22 年 11 月	サテライト特養尚古園・尚古園中央デイサービスセンター スプリンクラー設置工事完成
平成 23 年 9 月	サテライト特養尚古園 高圧電気設備の全面更新
平成 24 年 4 月	特別養護老人ホーム尚古園 居室廊下等全面改修工事（8 月終了） 照明器具省エネ改修工事（尚古園・尚古園デイ・グループホーム）
平成 24 年 9 月	尚古園ガス設備工事・業者変更 バルク及び旧配管撤去、新規ガスボンベ保管庫設置（厨房横）
平成 24 年 12 月	尚古園中央デイサービスセンター事業休止
平成 25 年 1 月	サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ 6 床開設
平成 25 年 5 月	事業用敷地購入（甲府市緑が丘一丁目 158 番 面積 872.79 m <sup>2</sup> ）
平成 25 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター事業廃止
平成 25 年 11 月	サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ事業廃止
平成 25 年 12 月	特別養護老人ホーム尚古園 中央競馬馬主社会福祉財団補助事業に より福祉車両を整備

平成 26 年 4 月 サテライト尚古園デイサービスセンター事業開始（定員 10 名）  
 平成 26 年 10 月 尚古園空調設備改修  
 平成 27 年 3 月 サテライト尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により  
     福祉車両を整備  
 平成 27 年 7 月 サテライト特養尚古園エレベーター改修工事  
 平成 27 年 10 月 サテライト特養尚古園サッシ入替その他改修工事  
 平成 28 年 3 月 グループホーム山径エアコン改修工事  
 平成 28 年 7 月 尚古園短期入所生活介護事業定員変更（定員 8 名→定員 10 名）  
 平成 28 年 10 月 サテライト特養尚古園多目的室設置工事  
 平成 29 年 4 月 尚古園、サテライト特養尚古園防犯設備設置工事  
 平成 29 年 11 月 尚古園居室区分変更工事  
 平成 29 年 12 月 サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事  
 平成 29 年 12 月 尚古園デイサービスセンター壁紙張り替え工事  
 平成 30 年 2 月 尚古園デイサービスセンター昇温配管更新工事  
 平成 30 年 2 月 尚古園電話設備更新工事  
 平成 30 年 2 月 尚古園移動式消火設備設置及び火災通報装置連動工事  
 平成 30 年 4 月 サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事  
 平成 30 年 5 月 サテライト特養尚古園 2 階、3 階手すり設置工事  
 平成 30 年 8 月 サテライト特養尚古園排水管改修工事  
 平成 30 年 10 月 尚古園玄関自動ドア電気錠設置工事  
 平成 30 年 12 月 尚古園機械浴入れ替え工事  
 平成 30 年 12 月 尚古園換気扇改修工事  
 平成 31 年 3 月 尚古園ガス給湯器取替工事  
 令和 1 年 8 月 緑が丘デイサービスセンター事業休止  
 令和 2 年 2 月 緑が丘デイサービスセンター事業廃止

## (2) 規 模 敷 地 面 積

甲府市和田町 2948 - 6 外（一部借地）	7,569.98 m <sup>2</sup>
甲府市緑が丘 1 丁目 158 番 2, 4, 11, 13	872.79 m <sup>2</sup>
甲府市緑が丘 2 丁目 11 - 2 （借地）	172.79 m <sup>2</sup>
甲府市中央 1 丁目 446 番地	505.11 m <sup>2</sup>

## 延 床 面 積

特別養護老人ホーム尚古園	3,056.31 m <sup>2</sup>
尚古園デイサービスセンター	389.85 m <sup>2</sup>
グループホーム山径	473.91 m <sup>2</sup>
緑が丘デイサービスセンター（借家）	103.38 m <sup>2</sup>
サテライト特養尚古園	923.62 m <sup>2</sup>
サテライト尚古園デイサービスセンター	220.20 m <sup>2</sup>

(3) 法人の概要

法人本部・事業所の所在地		本部・主たる事業所	山梨県甲府市和田町2948番地の6		
		緑が丘デイサービス	山梨県甲府市緑が丘2丁目11番地2		
		サテライト特養 サテ・デイサービス他	山梨県甲府市中央1丁目16番地2		
代表者名	廣瀬 朱實	法人認可年月日	昭和50年6月24日	法人登記年月日	昭和50年7月9日

(4) 法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	施設長名 事業所長名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム尚古園	西山 高美	80名
		地域密着型 介護老人福祉施設	サテライト特養尚古園	小川 ひろみ	20名
	第二種社会福祉事業	短期入所生活介護 (介護予防含)	特別養護老人ホーム尚古園	西山 高美	10名
		短期入所生活介護	サテライト特養尚古園 短期入所生活介護事業所	小川 ひろみ	(空床型)
		通所介護 (総合事業含)	尚古園デイサービスセンター	清水 努	25名
		地域密着型通所介護 (総合事業含)	緑が丘デイサービスセンター	岸 泰彦	10名
		地域密着型通所介護 (総合事業含)	サテライト尚古園デイサービスセンター	相原 司	10名
		認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	グループホーム山径	斎藤 真由美	9名
		認知症対応型通所介護 (介護予防含)	デイサービスセンター山径	斎藤 真由美	3名
公益事業		居宅介護支援	尚古園指定居宅介護支援事業所	中村 晃紹	—

(5) 役員 (理事定数6名、監事定数2名、評議員7名)

役 職	氏 名	職 業 ・ 所 属 等	備 考
理 事 長	廣瀬 朱實	常勤理事	
理 事	西山 高美	常勤理事	特別養護老人ホーム尚古園施設長
理 事	饗場 紀典	会社役員	
理 事	藤谷 真之	佛念寺住職	
理 事	土屋 直	無職	
理 事	廣瀬 伸次	医療法人 理事長	

役 職	氏 名	職 業 ・ 所 属 等	備 考
監 事	中込 正巳	中込経理事務所所長	
監 事	宮田 洋美	和田町民生委員 市立小学校講師	

役 職	氏 名	職 業 ・ 所 属 等	備 考
評議員	木村 正和	大学講師	
評議員	伊藤 治子	会社役員	
評議員	上原 雅志	私立高等学校講師	
評議員	土屋 紘一	無職	
評議員	塙田 正郎	不動産業	
評議員	志村 真佐子	無職	
評議員	石原 正文	病院勤務	

(6) 理事会・評議員会開催状況

(理事会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和1年5月22日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度 事業報告について</li> <li>・ 平成30年度補正予算について</li> <li>・ 平成30年度 決算について</li> <li>・ 平成30年度 監査報告について</li> <li>・ 業務執行理事の選定について</li> <li>・ 理事の退任及び理事候補者の選定について</li> <li>・ 定時評議員会の招集について</li> <li>・ 定時評議員会の提出議案について</li> </ul>
令和1年7月18日	理事 5名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の選任について</li> <li>・ 業務執行理事の選任について</li> <li>・ 緑が丘デイサービスセンターの休止について</li> </ul>
令和1年10月24日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度補正予算について</li> <li>・ 職員給与規程の一部改正について</li> </ul>
令和2年3月29日	理事 6名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度補正予算について</li> <li>・ 令和2年度事業計画について</li> <li>・ 令和2年度予算について</li> <li>・ 緑ヶ丘デイサービスセンターの廃止と建物改修積立資産の取り崩しについて</li> <li>・ 規則改正等について</li> <li>・ 定時評議員会の招集について</li> <li>・ 定時評議員会の提出議案について</li> </ul>

(評議員会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
平成31年4月21日	評議員6名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事の退任及び選任について</li> <li>・ 平成30年度補正予算について</li> <li>・ 平成31年度事業計画について</li> <li>・ 平成31年度予算について</li> <li>・ 職員就業規則の一部改正について</li> </ul>
令和1年6月16日	評議員5名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度補正予算について</li> <li>・ 平成30年度事業報告について</li> <li>・ 平成30年度決算について(監査報告)</li> <li>・ 理事の退任に伴う後任理事の選任について</li> <li>・ 任期満了に伴う新理事・監事の選任について</li> </ul>
令和1年7月30日	評議員7名	決議の省略 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑が丘デイサービスセンターの休止について</li> </ul>
令和1年11月12日	評議員7名	決議の省略 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度補正予算について</li> <li>・ 職員給与規程の一部改正について</li> </ul>

(7) 法人経営会議開催状況

開催年月日	議事
平成31年4月26日	・平成31年度に向けて ・新人体制について ・法人経営実績報告 ・新年度予算の執行 ・新年度の抱負・目標について ・勤務評価の実施 ・社会福祉法人が行う地域貢献の実施について 他
令和1年5月24日	・理事会・評議員会の開催結果 ・平成30年度決算について ・人事関係（異動） ・実地指導について ・賞与 ・処遇改善手当について ・法人経営実績報告 ・例月報告 ・平成30年度事業報告書の説明 ・事業所連絡会議報告 他
令和1年6月28日	・夏季賞与・処遇改善手当の支給について ・有給休暇の取得 ・安全運転管理の徹底 ・人事関係（採用・退職） ・理事・監事の再任（新理事の就任）について ・令和元年度事業所説明会の開催 ・法人経営実績報告 ・実地指導の予定 ・ふれあい夏祭り等地域支援活動の実施について ・事業所連絡会議報告 他
令和1年7月26日	・法人経営の危機管理（介護職員不足・緑が丘デイの運営危機・今後の対応） ・今後の人事方針について・NTTドコモアンテナ工事・アルコールチェッカーの導入 ・法人経営実績報告 ・光熱費使用状況報告 ・事業所連絡会議報告 他
令和1年8月30日	・緑が丘デイサービスセンターの休止について ・職員体制について ・介護職員等特定処遇改善加算の新設 ・消費税増税に伴う介護報酬等の変更 ・尚古園納涼会の実施 ・人事異動の内示 ・法人経営実績報告 ・後期勤務評価について ・赤い羽根共同募金運動への協力 ・光熱費使用状況報告 他
令和1年9月20日	・経営協全国大会報告 ・介護職員の人材不足 ・外国人雇用について ・ストレスチェックの実施 ・運営規定の変更（特養・ショート） ・利用料金の変更 ・法人経営状況報告 ・感染症への注意 ・ねんりんピックへの参加 ・事業所連絡会議報告 ・光熱費使用状況 他
令和1年10月25日	・理事会開催結果 ・県社協及び全国老施協の勤続表彰 ・ストレスチェック後の面接指導 ・労働基準監督署の立ち入り（サテライト） ・外国人介護技能実習生の受入れ ・赤い羽根共同募金及びねんりんピックの報告 ・法人経営実績報告 ・光熱費使用状況報告 ・事業所連絡会議報告 他
令和1年11月29日	・理事長・施設長の海外出張（インドネシア：介護実習生面接） ・冬季賞与の支給と勤務評価 ・予算執行について ・交通安全について ・感染症対策 ・出勤簿の様式変更について ・指導監査及び実地指導への対応 ・事業所連絡会議報告 ・法人経営実績報告 ・光熱費使用状況報告 ・事業所連絡会議報告 他
令和1年12月27日	・海外出張報告（インドネシア介護実習生3名採用） ・車両事故の注意喚起 ・適切な介護サービスの実施について ・36協定の改正 ・人事異動の内示 ・法人資金収支状況報告 ・法人経営実績報告 ・事業所説明会の実施について ・令和2年度予算要求について ・年次有給休暇の取得について ・光熱費使用状況報告 他
令和2年1月24日	・法人の経営状況について ・インフルエンザ防止対策について ・緑が丘デイの廃止について ・法人委員会について ・処遇改善手当支給方法の見直し ・人事方針 ・法人経営実績報告 ・利用者の入院及び逝去者数について ・法人資金収支状況報告 ・令和2年度事業計画書及び年間研修計画書の策定について ・光熱費使用状況報告 ・感染症対策 ・受動喫煙について 他
令和2年2月28日	・コロナウイルスへの対応について ・新年度人事について ・令和2年度介護職員等処遇改善計画について ・事業所説明会の実施報告 ・法人経営実績報告 ・法人資金収支状況報告 ・光熱費使用状況報告 ・各事業所の稼働状況報告 他
令和2年3月26日	・新年度に向けて ・平成2年度法人事業方針及び職員体制について ・年度初め式及び辞令交付式について ・理事会の開催について ・事業所指定更新について ・令和2年度稼働目標等について ・法人経営状況報告 ・令和元年度事業報告書の作成について ・コロナウイルス対策について ・新年度有給休暇の取得について ・光熱費使用状況報告 他

(8) 善隣会職員数（令和2年3月31日現在）

事業所	職員数					異動(年間)		
	正職員	嘱託職員	パート	非常勤	合計	採用	退職	異動出入
法人本部	2	1	0	0	3	0	0	0
特別養護老人ホーム 尚古園	42	4	10	1	57	8	8	2
サテライト特養 尚古園	11	2	3	0	16	5	3	0
尚古園デイサービスセンター	9	0	1	0	10	3	3	1
緑が丘デイサービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	5
サテライト尚古園デイサービス	2	3	2	0	7	4	3	1
グループホーム山径	5	4	2	1	12	1	2	1
尚古園居宅介護支援事業所	2	0	0	0	2	0	0	0
合 計	73	14	18	2	107	21	19	10

## 2、令和元年度事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

平成から令和の時代に変わる中で、社会福祉法人の経営は一段と厳しいものとなっております。

善隣会においても、利用者の高齢化・身体状況や介護度・認知度の重度化が進み、職員の業務負担も年々増加しており、介護保険収入減と人件費増の中にあって、法人経営を圧迫しております。

前年度(平成30年度)の経営状況は、介護報酬の大幅な減額改定や社会福祉法人制度の改革の影響により、介護保険制度が発足後、僅かではありますが初めての赤字収支となったところであります。

善隣会においては、この結果を法人経営の危機であると深刻に受け止め、令和元年度、新業務執行理事(尚古園新施設長)を中心とした新体制のもとで、“健全な法人経営”が確保できるよう懸命なる取り組みを行ってまいりました。

そのため、令和元年度の法人事業方針に掲げた重点目標の達成に努める中で、職員が総力を結集して介護保険収入の増と事業経費の節減を図りながら、良質な介護サービスの提供を推進してまいりました。

法人改革としては、経営悪化の「緑が丘デイサービスセンター」を廃止し、利用者と職員を他事業所に配分するなど経営の効率化に努め、また、職員の意識改革を促進して、適正な職員体制の構築と業務の効率化、及び介護サービス充実を図ってきました。

その結果、令和元年度は何とか経営危機を乗り越えることができ、黒字経営を確保できる見通しとなったところであります。

## 1、緑が丘デイサービスセンターの廃止について

緑が丘デイは、平成 30 年度、稼働率が 50% を切り事業継続が危ぶまれる事態に直面したため、「緑が丘デイ危機管理プロジェクト」を設置して、経営を立て直すための事業改革に取り組んでまいりました。

その結果、事業費の削減（職員減、賞与の減額、家賃や光熱水費等事務事業費の節減等）に努めるとともに新規利用者の獲得を図り、令和元年度は、稼働率 60% を確保することを条件に事業を存続することといたしました。

しかし、懸命なる取り組みにも関わらず、7 月の時点で稼働目標の 60% 達成は困難であるとの結論に達したため、9 月 1 日をもって緑が丘デイサービスセンターを休止といたしました。

このため、ご利用者様の多くは、それぞれのご要望に基づき法人内の他のデイサービスを利用され、また、職員についても他事業所に再配置を行い、経営の効率化と介護職員不足の解消を図ったところであります。

その後、再開について模索しておりましたが条件が整わなかったため、行政の手続きを経て令和 2 年 2 月 29 日をもって廃止とさせていただきました。

## 2、職員の経営意識の醸成について

令和の時代を迎え、高齢者福祉施設の運営はますます厳しさを増し、この状況を克服していくためには、全職員が現在の経営状況と介護施設が抱える課題を共有し、一丸となって問題解決に取り組んでいかなければなりません。

ワンチームとして、全職員が経営に参加する一体感の創出を図るため、昨年度に引き続き全職員の参加を得て、本年 2 月に 5 つのブロックごとに事業所説明会を実施いたしました。

本年度は、①安全で安心して生活するための支援 ②介護能力の向上 ③法人の経営状況 ④介護職員等特定処遇改善加算の新設 ⑤介護職員処遇改善加算等の支給方法の見直し ⑥外国人介護技能実習生の受け入れ等の直面する課題について、職員への理解と周知を図るとともに、良質な介護サービスの促進、並びに健全な法人経営の推進と職員の待遇改善について意見交換を行ってまいりました。

特に、“安全で安心して生活するための支援”については、参加者全員から日頃感じていることや、どのような取り組みができるかなどの具体的な意見聴取を行い、今後の事業運営を行う上で有益となつたところであります。

また、毎月の経営会議や例月事業報告を法人運営の核として、組織目標の周知や稼働目標の達成、組織の安定化や取り組むべき課題等について協議・検討・指示を行い、一定の成果を上げたところであります。

## 3、外国人技能実習生の受け入れについて

この制度は、外国人が日本の介護施設において介護技能実習を行い、帰国後は母国での介護技能を生かすことを目的としておりますが、多くの施設では人材不足解消策としての活用が図られております。

善隣会においても、持続可能な法人経営を図るには安定的な介護職員の確保が必要であるため、インドネシアの介護実習生の受け入れを決断したところであります。

そこで、外国人実習生の受け入れを調整する“監理団体”を、長野県小諸市の「介護施設協同組合」とし、昨年 12 月には、理事長と施設長がジャカルタを訪問して面接を行い、介護実習生 3 名の採用を決定したところであります。

いずれも21歳から24歳までの女性で看護師や助産師の資格を有し、現在はジャカルタの介護技能実習学校において、日本語と介護の勉強を行っております。

日本への入国は、日本語能力試験N4（基本的な日本語を理解することができる能力）以上であることが条件となっており、順調に推移すれば本年度中には入国し、2か月の研修を経て特養尚古園に着任する見込みであります。

今後は、職員への実習生受入れに関する周知と理解や、ハード・ソフト面における職場環境等の整備を行い、受け入れ態勢の構築に努めてまいります。

#### 4、施設整備等の実施

##### (1) 低床ベッドの導入（特養尚古園）

入所者の安全確保のため、転落リスクの低い低床ベッドへの計画的導入

##### (2) 受水槽塗替工事（特養尚古園）

塗装の劣化と槽内金具の腐食による改修工事

##### (3) NTT情報機器入替工事（特養尚古園・サテライト特養尚古園）

緑が丘デイの休止による拠点数変更に伴う情報機器の入替工事

##### (4) エレベーターの部品交換工事（特養尚古園・尚古園デイ）

安全性確保のための定期部品交換工事

##### (5) マッスルスーツの導入（特養尚古園）

介護職員の腰痛予防のための機器購入

### 3、運営組織

#### 委員会

##### 〈第三者委員会〉

苦情解決責任者・同受付担当者・第三者委員を選任し、介護サービスについて利用者等から寄せられる苦情などの適切な解決を目指し対応してきた。第三者委員会は年2回（8月と2月）開催され「苦情申立て」について報告がされた。また、苦情とは別に利用者等から寄せられたニーズ等へ対応してきた状況について報告もされた。会議では第三者委員から、より良い支援につなげられるようなアドバイスやご意見を頂いた。

##### 第三者委員会苦情報告件数

（上半期）→①特養…1件、意見として課題に上がったケース…1件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤緑が丘デイ…0件、⑥サテライトデイ…0件、⑦山径デイ…0件、⑧尚古園居宅…0件

（下半期）→①特養…3件、意見として課題に上がったケース…0件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤緑が丘デイ…0件、⑥サテライトデイ…0件、⑦山径デイ…0件、⑧尚古園居宅…0件

\*今年度は本体の尚古園での苦情に発展するケースが発生。

今年度の苦情内容はホスピタリティマナーの基本ができていないといった苦情であった。

これは福祉法人としては致命的なことでもあり、年度末にはすべての事業所を対象に「介護の基本」について学習や話し合いを行い、法人全体でホスピタリティマナーを基本とした生活支援である介護を見

直す取り組みを行った。

今後も各事業所の窓口は、意見や要望だけでなく、ご家族やご利用者が言い出すことが出来ないであろう思いを汲み取り、第三者委員会に挙げてゆくことが必須である。

#### 〈教育・研修委員会〉

例年通り、それぞれの事業所リーダーが自事業所の研修を計画し実践していく形で進めてきた。担当職員にとって、計画～準備～実施～報告の一連の流れを実践し、知識を深め、人に伝える技術などの学びの機会となり、各事業所リーダーのみでなく中堅職員のスキルアップに繋げられる、とても貴重な機会となっている。委員会として定期的に各事業所リーダーで集まり、進捗状況の確認を始めとした意見交換を行なってきたが、下半期にその機会が滞ってしまった期間があった。継続的に行うべきであったと反省している。

#### 〈リスク対応委員会〉

高齢者施設において発生しうるリスクに対応するために、総合的にリスクに対応できる委員会として活動を行なってきた。

法人勉強会において、介護事故防止、身体拘束虐待防止、感染症対策について、より具体的で実際的な内容とし、明日からの現場に活かせるようにした。

#### 〈衛生委員会〉

職員の健康診断の結果に基づき実施した保健指導及び産業医の指導による腰痛対策などを通じて、職員の健康管理の取組み等を実施した。

メンタルヘルス対策も定着し、年間を通じてメンタルヘルスに不調をきたす職員はいなかった。

また、ストレスチェックの実施は、在職職員の全てで実施できた。

## 会議

#### 〈法人経営会議〉

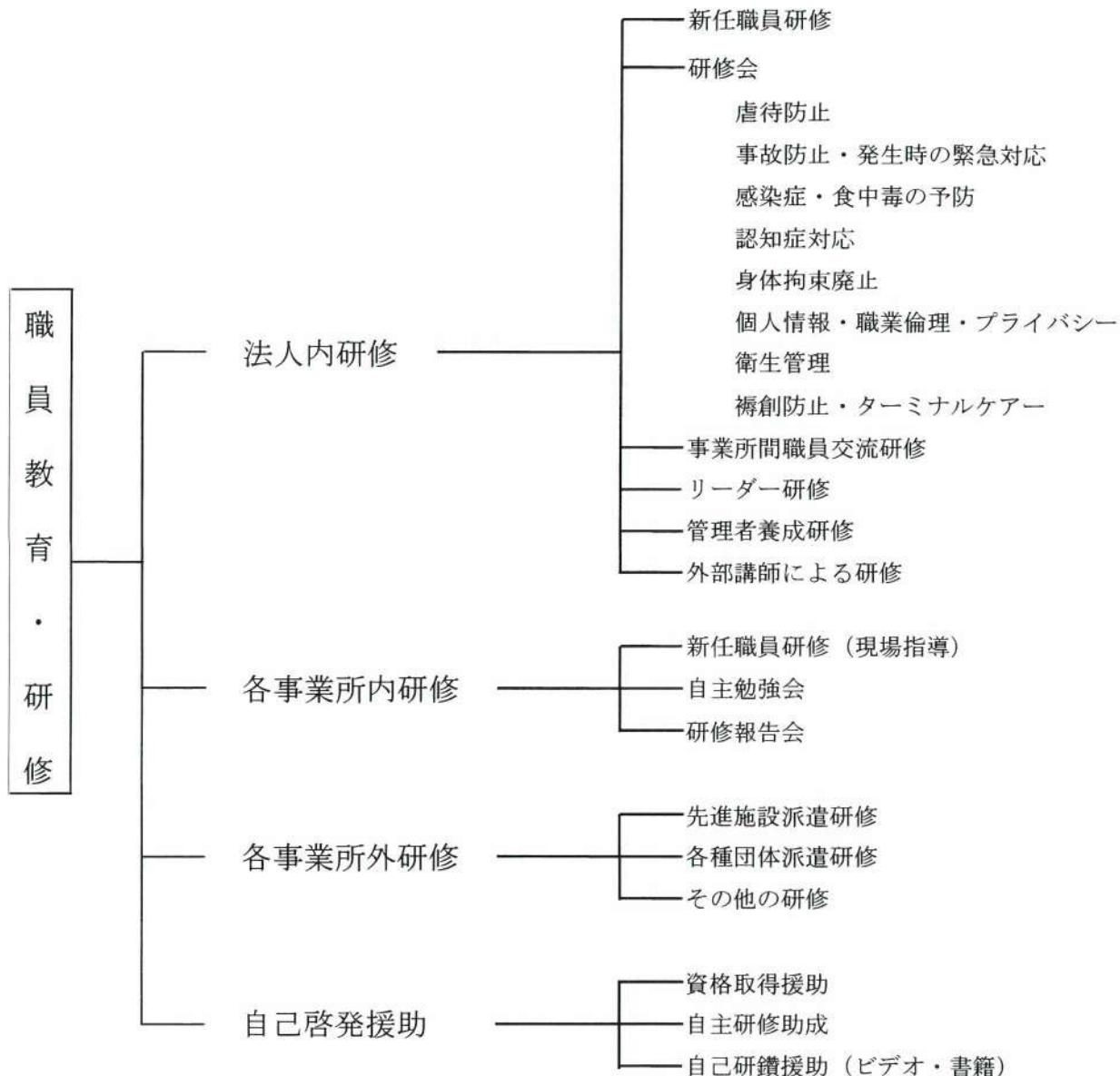
理事長・常勤理事及び各事業所の管理者等で構成し、法人運営の最高決定機関として、法人事業全体の適切な運営及び経営について協議を行った。

理事長及び常勤理事兼施設長から経営状況や当面する課題や人事を中心とする組織運営状況、法人事務局長から介護事業収入状況や介護情報の提供が行われた。また、各事業所の稼働状況（稼働率）への対応や施設整備に関する協議、また、直面している各種課題についての協議・検討を行い、積極的な議論の場としての活用を図る中で重要業務の意思決定を行なってきた。

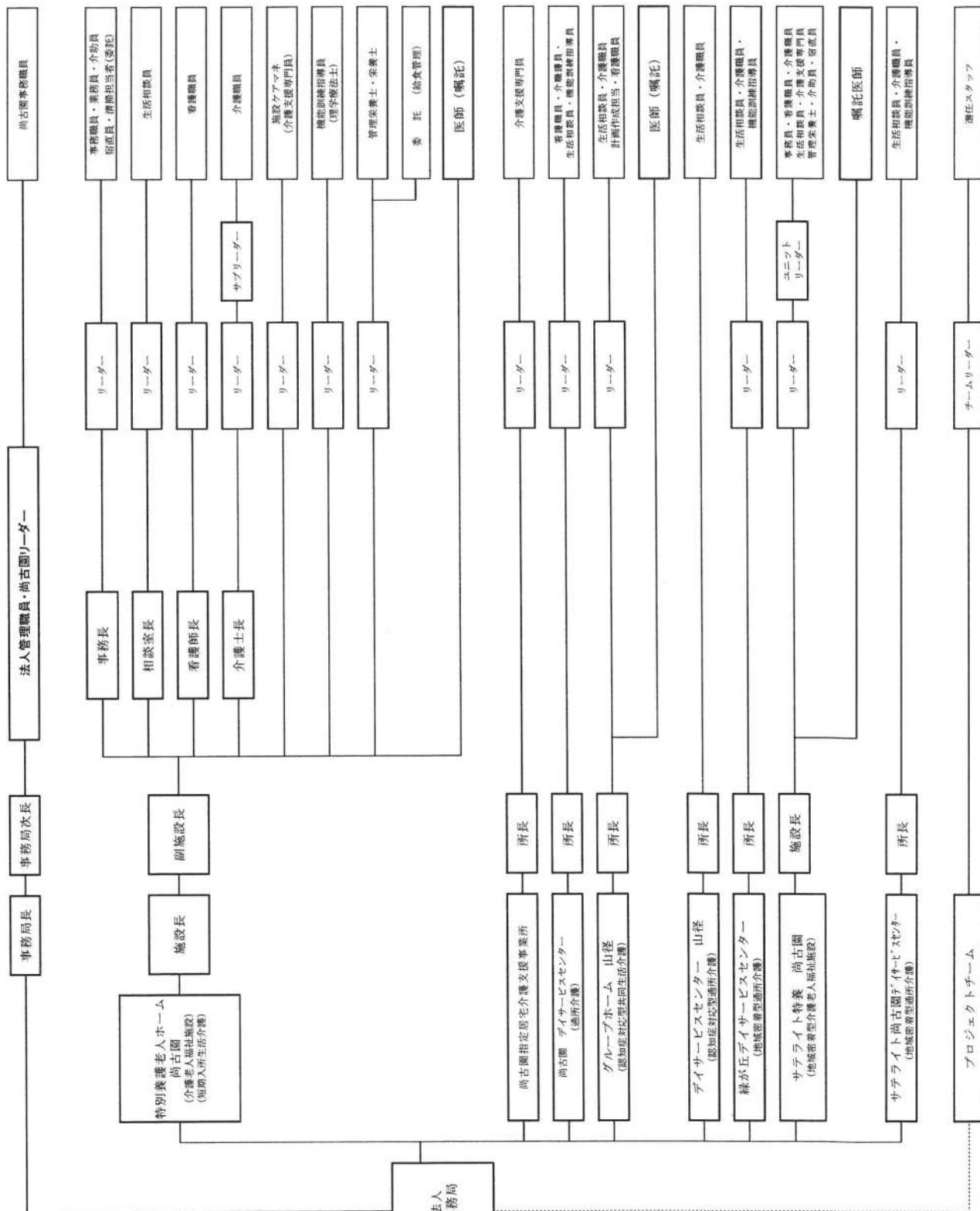
#### 〈事業所連絡会議〉

各事業所の運営者・生活相談員等で構成し、各事業所の持つ情報を共有しつつ協力し合い、多様化する利用ニーズに合うサービス提供やより良いケア実践を行うための検討と意見交換の場としてきた。

## 4、(福) 善隣会 令和元年度職員教育・研修体系



令和元年度  
社会福祉法人 善隣会  
組織図





# 特別養護老人ホーム尚古園





## 1、利用者生活支援状況（報告）

### （1）支援方針総括

『ご利用者の立場に立った生活支援をすすめること』を基本とし、施設サービス計画に基づき一人ひとりに適した速やかで柔軟性のある援助を効果的に行うため他職種間の連携を密にして心身の健康保持と自立支援に努め、合わせて生活の活性化をはかるものとし取り組んだ。自立支援に向けた「個別ケア」の推進やケアの質の向上、業務の効率化に取り組んできた。介護として利用者様一人ひとりに適した援助を心掛けたが、結果的に対応が遅れてしまいアクシデントの発生が多く見られた。この事を真摯に受け止め迅速な対応、早期発見早期改善に努めていかなければならない。

### （2）各部署からの報告

#### <事務>

- ・ 年間を通じて介護保険請求業務、勤怠管理など、事務局で係わる業務管理は適切に処理することが出来た。
- ・ 介護職員の業務が円滑に遂行できるように、事務局で係わる支援業務は継続的にタイムリーな対応ができた。
- ・ 事務部門としてご利用者・ご家族から信頼され満足して頂けるサービスを提供することができた。
- ・ 感染予防の対策として、玄関の施錠管理や来園者の検温確認などを行った。

#### <看護>

- ・ 高齢で基礎疾患を持ち、また人生の最終章にある方々をあずかる立場であることを肝に銘じ、ご利用者の心身の管理をおこなった。
- ・ 施設での看取りは 11 名であった。各ケースとも、家族への説明と要望を踏まえた話し合いを重ね、他職種との協働のもと医療専門職としての役割を果たした。
- ・ 健康診断として血液検査と胸部レントゲン検査を実施し、健康管理を行った。異常が見つかり、嘱託医の指示のもと、病院での精査治療につなげたケースもあった。

#### <管理栄養士>

- ・ 施設多職種・給食委託業者・法人内の複数管理栄養士との連携により、食事内容や栄養管理について情報交換や課題についての取り組みが実施できた。令和 2 年度は、さらに連携を強化し、食事管理・栄養管理の質を向上させていく。
- ・ 栄養カンファレンスを通して、多職種で栄養管理について評価し、改善策を実施することで、ご利用者の栄養管理を改善できた。同時に、栄養部門からの栄養管理に関する情報発信を行った。
- ・ 行事食やイベント等における各事業所のニーズに対して、調整し協力・連携をした。令和 2 年度は、さらに食の楽しみを拡充していく。

#### <介護>

- ・ アクシデント発生に対して真摯に取り組む必要がある。全職員が初心に立ち返り、介護の役割を再認識していかなければならぬ。
- ・ 居室担当制から個別担当制に変更。ご利用者、ご家族様が安心できるように長期的に同じ職員が個のケアの中心となり質を上げていく。
- ・ ショートステイの日中の余暇活動が少しずつ定着してきている。日中の活動についてアプローチしきれていない部分もあるが利用者様のニーズに耳を傾け、できる事をタイムリーに実施していきたい。

#### <生活相談員>

- ・ 退所者数は年間 22 名（男性 6 名女性 16 名）と昨年度より 2 名減少となった。10・11・3 月は退所者 0 名であった。
- ・ 入院による空床数も昨年比 241 床減の 632 床となり、年間平均入所稼働率は前年度を上回った。

- ・ショートステイは、4月を除き、年間通して高稼働率を達成することが出来た。(4月はロングショート予定者3名が入院やご家族の体調不良などで5月利用開始に延期となった為、不測の空床が出た。)
- ・ボランティアの受け入れ、家族との連携、地域交流については、感染症予防期間を除き、例年通りの実施ができた。
- ・新型コロナウイルス感染対策により、面会中止となった期間の事務連絡に、ご利用者の写真を同封してご家族に安心して頂けるようにした。

<機能訓練担当>

- ・ADL の維持に繋げられるよう意識して訓練計画を作成し実施し、可能な利用者様には ADL 場面で訓練を行うように配慮した。また、介護スタッフと協力をして御利用者に適した ADL や日常生活の中で出来る運動が行えるよう、適時検討・実施をした。
- ・必要に応じて、補助具や介護用品の必要性を検討し、安全に ADL が行えたり、安楽な姿勢がとれたりするように対応をした。
- ・リハビリの他に利用者様の居室環境、衣類などの清潔管理の面で関わりを持った。
- ・コロナウイルスの影響で外出を行いにくい状況であるので、リハビリ時には、少しでも庭に出て外気に触れる機会を設けるように意識した。

<介護支援専門員>

- ・園の生活支援方針を念頭に置いて、ご入所者とご家族の意向を汲み取り出来る限り個別性と自立支援を目指した施設サービス計画書の作成を実施した。
- ・サービス担当者会議において、ご入所者の状態をご家族、多職種間でしっかりと共有し具体的な課題や援助方法を明確にし、園での生活が充足し、且つご家族との関係性を構築することを意識し開催した。
- ・終末期に対するお考えの確認については、様々な視点を持ってご家族の意向を汲み取る工夫が必要だと感じ、今後も多職種協働で支援を進めて行きたい。
- ・多職種と連携し、直面する課題を放置しないように都度話し合い、アドバイスを得ることを努力した。
- ・平成27年度以降、特養への入所基準が要介護3以上となり、ご入所後に体調を崩され短期間で退所されるケースも増えている。施設の役割として重度の方をお受入れしていくためには、現状の課題に対して、益々多職種の連携が重要であり、各専門職とコミュニケーションを図りながら支援を進めて行きたい。
- ・平成31年度、令和元年より、施設介護支援専門員が2名体制となり、1年が経過した。これまで以上に、個々のご入所者に対する状況の把握や、課題の分析が行える様になったと感じる。しかし、現在の尚古園の課題として、年齢と共に重度化され、より多角的なご支援が必要となられた方と共に、認知症状を伴う行動障害等を起因とした、転倒骨折が多数発生しており、事故を未然に予防する取り組みが求められています。引き続き、2名で連携し、より細やかに、より迅速に皆様の安全で安心な生活をお手伝いさせて頂ける様に取り組みます。
- ・新型コロナウイルス発生に伴い、ご入所者、ご家族に不自由な生活を強いており、お互いに少しでも安心して過ごして頂ける様に、報告、連絡、相談を心掛けて行きたい。

(3) 委員会からの報告

<防災委員会>

- ・年間計画に沿って、計画的に防災教育や防災訓練、設備点検等を実施。緊急連絡網や自然災害マニュアル、ハザードレポート等の整備も行えた。
- ・災害についての教育も実施したが、委員以外でもしっかりと対応できるように体制を整えていく。

#### <身体拘束廃止・虐待防止委員会>

- ・ 昨年度は、「不適切なケア」についての問題提起を行い、勉強会やユニット会議を通じて意識改革に努めてきた。これまで経験したことのない程の高負荷な毎日において、身体拘束や虐待とは常に紙一重の状態であることを理解し、一人ひとりが不適切なケアとは何か、自分のケアは適切なのかと振り返ることができるような環境作りや精神面のフォローを行っていきたい。

#### <食事検討委員会>

- ・ 令和元年度は、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会の学会分類にある嚥下調整食に対応した食事の整備」を、引き続きの目標とした。ミキサー粥にとろみ剤を使用し、嚥下調整食に調整できた。ご利用者の摂取状況を見ると、嚥下しやすくなり、安全に摂取できていると感じた。しかし、まだ整備ができるていない食事もあるので、今後の課題としたい。
- ・ 令和元年度の1月より、会議のブラッシュアップを図ってきた。令和2年度は、さらに会議の質を上げ、食事の質を向上させ、ご利用者の食事に対する満足度を上げていきたい。

#### <感染症対策委員会>

- ・ 施設内へのウイルスの持ち込みを完全に防げない事を前提として、感染者の早期発見に努め、重症化を防ぎ、蔓延を最小限で食い止める体制を強化した。
- ・ 冬季は、地域のインフルエンザ警戒レベルに合わせて外出や面会の制限を行ったが、引き続いて起きた新型コロナウイルスのパンデミックに対応し、感染症対策を実施した。
- ・ 中途採用職員に対して、オリエンテーション時に感染症対策についての指導をタイムリーに行い、職員の標準化を図った。
- ・ 感染症の研修会は、食中毒について管理栄養士による講義と、ノロウイルス感染症の対応として基本的な嘔吐物処理方法と手袋エプロンマスク等の正しい扱い方についてデモンストレーションを行なった。  
今回起きている新型コロナウイルス感染症のパンデミックのような事は今後も繰り返されることが考えられ、介護施設にとって基本的な感染症対策、技術は必須である。

#### <介護事故防止委員会>

- ・ アクシデントレポートの発生件数は143件と前年度の149件に比べ、6件減少したが、転倒からの骨折6名と入院に至るケースが重なった年度となってしまった。ヒヤリハットの件数は、前年度に比べ定着しているが、対策の見直し等に繋がらずアクシデントに繋がるケースや予知できたケースが多く見られた。ヒヤリハットより対策を掘り下げヒヤリをそのままにせず見直しをするべきだった。次年度への課題として、現状の把握や要因の分析の力を挙げていく取り組みを行っていきたい。

#### <褥創防止対策委員会>

- ・ 勉強会では車椅子乗車中の除圧（座り直し）のデモンストレーションを行い、必要性の再発信。配膳時の座り直しと正しい姿勢保持に対する意識の向上に努めた。また、適切な方法で排泄ケア（洗浄と軟膏塗布）を行うことの重要性について働きかけた。
- ・ オムツ交換時、必要な方への陰部や臀部の洗浄の実施は、以前に比べ定着し、徹底されてきているがおむつかぶれや、かいてしまった表皮剥離の発生はあった、都度陰部洗浄や軟膏塗布を断続し、離床時間の調整、臥床時体位の分散を行うことで褥瘡までの発生はなかった。
- ・ どのご利用者に何のケアを実施しているかを記すために、ホワイトボードを使用したが、口頭での発信が多くあまり更新ができなかった、今後検討課題。
- ・ 適切で安楽なポジショニングの徹底を図るため、利用者個々人をPTが評価し、写真作成を実施した。
- ・ ご利用者個々人に必要な介護用品（クッション、当て物）の選択については、担当職員と話しあい個々に合ったものも選定した。

<身体拘束廃止・虐待防止委員会>

- 昨年度は、「不適切なケア」についての問題提起を行い、勉強会やユニット会議を通じて意識改革に努めてきた。これまで経験したことのない程の高負荷な毎日において、身体拘束や虐待とは常に紙一重の状態であることを理解し、一人ひとりが不適切なケアとは何か、自分のケアは適切なのかと振り返ることができるような環境作りや精神面のフォローを行っていきたい。

<医療行為検討委員会>

- 看護と介護の連携のもと、トラブルなく、安全に医療行為（経管栄養）の実施ができた。
- 初任者研修で、施設における医療について総合的な指導を実施している。

## 2、年間行事表

年間		月間	旬間	週間	日課
H31.4月	花見浴	お誕生日会 諏訪神社参拝 物故者供養 墓参り 理髪 出張美容室 ひまわり会 お好みメニュー	歯科診察 (第1・3木曜日)	内藤医師診察 (水曜日)	機能訓練
R1.5月	端午の節句 母の日				
6月	父の日 創立記念日				
7月	七夕祭り				
8月	納涼会				
9月	敬老会 十五夜				
10月	十三夜 運動会 紅葉浴				
11月	焼き芋会				
12月	忘年会 クリスマス会 もちつき				
R2.1月	新年祝賀会				
2月	節分				
3月	ひな祭り 物故者慰靈祭				

### 3、職員研修状況

#### (1) 施設外研修

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

年月日	研修主催者	研修内容	参加人数	研修場所
H31. 4. 25	富士見高原病院	感染対策勉強会	3	甲府市総合市民会館
4. 26	山梨県介護福祉士会	介護福祉士実習指導者講習会	2	山梨市民会館
R1. 5. 22	リコージャパン株山梨支店	労基法改正施行後対策セミナー	1	リコージャパン株山梨支店
6. 24	山梨県福祉保健部	令和元年度認知症介護実践研修	1	かいてらす 3 階大ホール
6. 26	山梨県栄養士会	令和元年度山梨県栄養士会福祉事業部研修会	1	ひゅあ総合 2 階中研修室
8. 21	山梨県社会福祉協議会	介護支援専門員更新研修Ⅱ	2	桃源文化会館
9. 26	全国老人福祉施設協議会	関東プロ老人福祉施設研究総会	1	アクトシティ浜松
9. 11	介護労働安定センター山梨支部	第 1 回事業者支援セミナー	1	山梨県立文学館
9. 17	山梨県中北保健所・山梨県看護協会	中北地区看護管理代表者会議	1	山梨県看護教育研修センター3 階大研修室
10. 10	甲府市福祉保健部	介護認定調査員新規研修	1	山梨県自治会館
10. 15	山梨県社会福祉協議会	21 世紀委員会	1	小瀬スポーツ公園武道館
10. 17	甲府市介護サービス事業者連絡協議会	甲府市介護サービス事業者連絡協議会等合同研修会	2	甲府市南公民館
11. 7	全国老人福祉施設協議会	山梨県老施協研究総会 事前研修会	1	遊亀公民館
11. 11	甲府労働基準協会	労務管理講習会	1	アイメッセ山梨
11. 28	甲府共立病院臨床倫理委員会	認知症の方や高齢者の意思決定支援	1	山梨勤労者医療協会
12. 3	山梨県社会福祉協議会	高齢者権利擁護等事例等報告検討会	1	山梨県自治会館講堂
12. 13	山梨県外国人材企業相談センター	外国人材の採用と制度についてのセミナー	1	山梨県立中小企業開発センター
R2. 1. 11	日本介護福祉士会	介護職種の技能実習指導員講習	1	山梨県青少年センター
R2. 1. 18	山梨県介護福祉士会	介護実習指導フォローアップ研修	1	山梨県福祉プラザ
R2. 2. 2	山梨県歯科医師会	口腔ケア研修セミナー	1	県立文学館
R2. 2. 8	山梨県立中央病院	災害医療	1	山梨県立文学館
R2. 2. 9	山梨県老人福祉施設協議会	山梨県老施協研究総会	1	アピオ甲府
R2. 2. 26	山梨県老人福祉施設協議会	関プロカントリーミーティング	1	オーフラ千葉ホテル
R2. 3. 4	日本年金機構・協会けんぽ	健康保険委員・年金委員研修会	1	山梨県地場産業センター

(2) 施設内研修

月 日	内 容	担 当
6月4日（火）	「初任者研修」 法人事業・事業計画・就業規則・職業倫理・衛生教育 防災教育・生活支援・事故防止・機能訓練・介護保険 身体拘束廃止虐待防止・医療・感染対策・ターミナルケア 食事・介護・記録 等について	各担当責任者
5月18日（土） 5月24日（金）	権利擁護	法人研修委員 坂本
6月10日（月）	感染症・食中毒蔓延防止について	感染対策委員会 浅野
7月8日（金）	事故防止について	事故防止委員会 齊城
8月12日（月）	認知症ケア	認知症実践リーダー 一相山
9月9日（月）	身体拘束防止について	身体拘束委員会 小田切淳
10月14日（月）	感染症・食中毒蔓延防止についてデモンストレーション	感染対策委員会 近山
11月11日（月）	防災教育～自然災害マニュアルについて～	防火管理者 飯島
12月9日（月）	アンガーマネジメント	小田切宏樹
1月21日（月）	褥瘡防止について	褥瘡防止委員 小西
2月10日（月）	身体拘束防止について	身体拘束防止委員 布施
3月9日（金）	事故防止について	事故防止委員 野呂

4、施設実習受け入れ状況

実習機関	実習内容	期間	実人数	延べ人数
帝京福祉専門学校 (介護福祉士養成)	施設実習	R1.11/20～11/27 6日間	3人	18人
計			3人	18人

## 5、在宅サービス受け入れ状況

短期生活介護（ショートステイ）

年月	H31. 4	R1. 5	6	7	8	9	10	11	12	R2. 1	2	3	合計
利用者 数	15	17	18	18	19	17	19	20	20	20	16	18	217
延日数	162	261	282	293	237	276	266	243	266	273	266	287	3,112

年間利用実員 31人

関連居宅支援事業所数 14 事業所（尚古園居宅含む）

甲府市 13 事業所 甲州市 1 事業所

## 6、ボランティア受け入れ状況

〈グループ別月間集計〉※ご来園順

グループ名 年月	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
<b>&lt;自治会・女性部団体&gt;</b>														
和田町														
大手東部女性部								1						1
緑和自治会女性部				3										3
岩窪地区女性部				12										12
朝日地区女性部				13	3									16
緑が丘老人クラブ											2			2
相川地区女性部								3						3
峰本女性部			1			1								2
上積翠寺女性部								3						3
下積翠寺女性部														
小松町女性部									5					5
塚原女性部														
日影女性部							14							14
北新文協リメーク部							10							10
桜自治会女性部														
<b>&lt;サークル・ボランティア団体&gt;</b>														
セイビドー			1		1			1			1			5
ブリランテ・マンドリーノ								19						19
一寸法師			3											3
あんまボランティア					3									3
さつき会						6								6
千塚鼓友会					8									8
二三千代会						7								7
消防本部音楽隊						14								14
タロー&ジロー(ウクレレブラザーズ)										1		2		3
<b>&lt;宗教団体等&gt;</b>														
甲府福音教会				12										12
佛念寺 藤谷真之先生				1	1		1				1		1	5
<b>&lt;学校・保育園関係&gt;</b>														
押原子供園														
山梨学院大学付属高校														
山梨県美容専門学校								36	36					72
KFJr 合唱団								10						10
駿台甲府高校管弦楽部														
北新小学校														
<個人>			1			1								2
<家族>														
<b>&lt;企業・法人・その他&gt;</b>														
電設協会														
合 計 (団体)	0	1	9	4	2	7	6	4	2	3	1	1		40
(人)	0	1	45	6	11	31	90	43	6	4	2	1		240

※ =雑巾、タオル寄贈の為来園

## 7、食事と栄養

### (1) 年間行事食献立

年月日	行事名	献立内容
毎月1日	誕生日会	御赤飯（栗・甘納豆）、季節感のある副食
毎月1日	お好みメニュー	主食（御飯物、麺類等）の2種類からひとつ選択
毎週数回	選択おやつ	味や種類を変えた2種類からひとつ選択
4月4日	お花見会	五目山菜ご飯、山菜の天ぷら、春野菜の煮物、桜漬け、わさび和え、ごま豆腐、そば汁、フルーツ盛り合わせ、その他盛り込み料理、菓子類、甘酒 アルコール・飲料類
5月5日	端午の節句	いなり寿司、五目玉子焼き、春野菜の煮浸し、つみれ汁、ぶどう缶 (おやつ)ととやき
6月24日	法人創立記念日	栗の赤飯、天ぷら、冬瓜のそぼろあんかけ、酢の物、かきたま汁、メロン (おやつ)ねりきり
7月7日	七夕	七夕そうめん、かき揚げ、枝豆、茄子田楽、ぶどう缶 (おやつ)七夕ゼリー
7月27日	土用丑の日	うな丼、冷製茶碗蒸し、海藻サラダ、けんちん汁、マンゴー
8月25日	夏祭り	やきそば、おでん、焼鶏、たこ焼、焼もろこし、みつ豆、アルコール ソフトドリンク
9月16日	敬老の日	栗の赤飯、天ぷら、炊き合わせ、菊花和え、漬物、すまし汁、ぶどう (おやつ)ねりきり
9月23日	秋分の日	おはぎ3種、鶏肉の炒り煮、春菊のわさび和え、味噌汁、オレンジ
9月13日 10月11日	十五夜・十三夜	月見うどん、かぼちゃのそぼろ煮、茄子の涼拌、バナナ (おやつ)月見ゼリー 栗ご飯、鶏の照り焼き、豆腐サラダ、揚げ茄子、すまし汁、バナナ (おやつ)月見ねりきり
12月17日	餅つき	(おやつ)お茶・粒あん・きなこ・黒胡麻餅
12月25日	クリスマス	ツリーバーグカレーライス、福神漬け&らっきょう漬け、シーフードサラダ 柿 (おやつ)クリスマスケーキ
R2年 1月1日	新年祝賀会	雑煮、おせち盛り合せ(伊達巻、黒豆、昆布巻、紅白蒲鉾、栗きんとん なます、豚の角煮、日の出海老、筑前煮、ねりきり、お屠蘇、みかん
1月7日	七草	七草粥、鶏豆腐焼き、味噌田楽、春菊のわさび和え、味噌汁 キウイフルーツ
2月3日	節分	恵方巻風巻寿司、金平ごぼう、浅漬け、とろろ昆布汁、みかん (おやつ)甘酒 (夕食)麦ご飯、松風焼き風、かぶサラダ、いわし缶、味噌汁
3月3日	桃の節句	ちらし寿司、豆腐ハンバーグ、うどの酢味噌和え、すまし汁、三色花ゼリー (おやつ)甘酒、ひなあられ
3月20日	春分の日	おはぎ3種、春野菜の煮物、イタリアン和え、豚汁、いちご

(2) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
31年4月	79	29	44	6
1年5月	80	29	46	5
6月	80	25	49	6
7月	80	25	47	8
8月	78	20	51	7
9月	79	19	51	9
10月	80	19	52	9
11月	80	21	53	6
12月	80	19	54	7
2年1月	80	20	55	5
2月	80	23	52	5
3月	80	22	53	5
平均	79.7	22.6	50.6	6.5
全体割合	100	28.3	63.5	8.2

(3)食事内容・食形態別数

	一般食	腎臓食	糖尿病食	胃潰瘍食	肝臓食	膵臓食	脂質異常症食	貧血食	経管栄養	合計
常菜	5	6	2	0	0	0	0	0	0	13
キザミ	11	3	3	1	0	0	1	1	0	20
超キザミ	17	8	5	2	0	0	0	3	0	35
ミキサー	2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
合計	35	18	10	3	0	0	2	4	5	77

令和2年3月31日夕食現在

## 8、ひまわり会（利用者の会）活動状況

日 時	参加人数	活 動 内 容
5月 28 日 15:00～15:30	15 名	・新入園者、新入職員の紹介　・6月の予定のお知らせ ・ご利用者からの要望等　・体操
6月 24 日 15:00～15:30	11 名	・新入園者、新入職員の紹介　・7月の予定のお知らせ ・ご利用者からの要望等　・体操 ・カフェレク
9月 30 日 15:00～15:30	16 名	・新入園者、新入職員の紹介 ・10月の予定のお知らせ・ご利用者からの要望等 ・会議前に嚥下体操、合唱行う。 ・手洗いデモンストレーション
1月 27 日 15:00～15:30	19 名	・新入園者、新入職員の紹介 ・2月の予定のお知らせ　・ご利用者からの要望等 ・体操
2月 24 日 15:00～15:30	20 名	・新入園者、新入職員の紹介 ・ご利用者からの要望等　・3月の予定のお知らせ ・風船バレー　・会議前に体操行う。
3月 30 日 15:00～15:30	18 名	・新入園者、新入職員の紹介 ・ご利用者からの要望等　・4月の予定のお知らせ ・会議前に体操行う。

※毎回、園からの情報提供、ご利用者からの要望、利用者間の話し合いを行なう。

## 9、ご家族との連携

### (1) ご家族への案内

	内 容																								
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 前月分入出金明細及び預り金残高、小遣い帳明細のお知らせ</li> <li>* 諸経費・小遣等領収書の発送</li> <li>* 利用料請求</li> <li>* 介護保険等の情報提供</li> <li>* 当月及び翌月の予定のお知らせ</li> </ul>																								
該当月	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">4月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季面会制限終了のお知らせ</li> <li>・お花見会のご報告</li> <li>・施設ケアマネージャーが2名になります</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>5月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備のお知らせ</li> <li>・新しく入所された利用者様（1年未満）のご家族様へ</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>6月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り開催のお知らせ</li> <li>・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました</li> <li>・衣替えの時期となりました</li> <li>・衣類には必ず記名をお願いします</li> <li>・差し入れ、持ち込みについて</li> <li>・インフルエンザ予防投与負担額のお詫びとご返金について</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>7月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか</li> <li>・夏祭り開催のお知らせ（昼開催）</li> <li>・NTT ドコモアンテナ設置及び撤去工事に関わるお願ひ</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>8月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種確認証の結果について</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>9月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度胸部レントゲン検査のお知らせ</li> <li>・各種減免の認定申請を有難うございました</li> <li>・年金生活者支援給付金請求手続き</li> <li>・夏祭りお礼</li> <li>・令和元年10月～介護報酬及び利用者負担額（食費・居住費）の改定について</li> <li>・「尚古園だより」をお届けします</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>10月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご長寿をお祝い申し上げます</li> <li>・衣替えの季節となりました</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・感染症委員会からのお知らせ</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>11月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月～利用料金変更のお知らせ（確認）</li> <li>・恒例の年末大掃除参加ご家族大募集</li> <li>・餅つき大会開催</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・防寒衣類について</li> <li>・医務、感染症対策委員会からのお知らせ</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>12月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご面会の方へお願い</li> <li>・冬季（～3月末まで）の外出・外泊についてのお願い</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>1月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会からのお願い</li> <li>・年末大掃除へのご協力ありがとうございました</li> <li>・餅つき大会の参加ありがとうございました</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>2月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会よりお知らせ</li> <li>「面会制限にご協力頂きありがとうございます」</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>3月 …</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策にご協力頂き有難うございます</li> </ul> </td></tr> </table>	4月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季面会制限終了のお知らせ</li> <li>・お花見会のご報告</li> <li>・施設ケアマネージャーが2名になります</li> </ul>	5月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備のお知らせ</li> <li>・新しく入所された利用者様（1年未満）のご家族様へ</li> </ul>	6月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り開催のお知らせ</li> <li>・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました</li> <li>・衣替えの時期となりました</li> <li>・衣類には必ず記名をお願いします</li> <li>・差し入れ、持ち込みについて</li> <li>・インフルエンザ予防投与負担額のお詫びとご返金について</li> </ul>	7月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか</li> <li>・夏祭り開催のお知らせ（昼開催）</li> <li>・NTT ドコモアンテナ設置及び撤去工事に関わるお願ひ</li> </ul>	8月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種確認証の結果について</li> </ul>	9月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度胸部レントゲン検査のお知らせ</li> <li>・各種減免の認定申請を有難うございました</li> <li>・年金生活者支援給付金請求手続き</li> <li>・夏祭りお礼</li> <li>・令和元年10月～介護報酬及び利用者負担額（食費・居住費）の改定について</li> <li>・「尚古園だより」をお届けします</li> </ul>	10月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご長寿をお祝い申し上げます</li> <li>・衣替えの季節となりました</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・感染症委員会からのお知らせ</li> </ul>	11月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月～利用料金変更のお知らせ（確認）</li> <li>・恒例の年末大掃除参加ご家族大募集</li> <li>・餅つき大会開催</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・防寒衣類について</li> <li>・医務、感染症対策委員会からのお知らせ</li> </ul>	12月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご面会の方へお願い</li> <li>・冬季（～3月末まで）の外出・外泊についてのお願い</li> </ul>	1月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会からのお願い</li> <li>・年末大掃除へのご協力ありがとうございました</li> <li>・餅つき大会の参加ありがとうございました</li> </ul>	2月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会よりお知らせ</li> <li>「面会制限にご協力頂きありがとうございます」</li> </ul>	3月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策にご協力頂き有難うございます</li> </ul>
4月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季面会制限終了のお知らせ</li> <li>・お花見会のご報告</li> <li>・施設ケアマネージャーが2名になります</li> </ul>																								
5月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備のお知らせ</li> <li>・新しく入所された利用者様（1年未満）のご家族様へ</li> </ul>																								
6月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り開催のお知らせ</li> <li>・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました</li> <li>・衣替えの時期となりました</li> <li>・衣類には必ず記名をお願いします</li> <li>・差し入れ、持ち込みについて</li> <li>・インフルエンザ予防投与負担額のお詫びとご返金について</li> </ul>																								
7月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか</li> <li>・夏祭り開催のお知らせ（昼開催）</li> <li>・NTT ドコモアンテナ設置及び撤去工事に関わるお願ひ</li> </ul>																								
8月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種確認証の結果について</li> </ul>																								
9月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度胸部レントゲン検査のお知らせ</li> <li>・各種減免の認定申請を有難うございました</li> <li>・年金生活者支援給付金請求手続き</li> <li>・夏祭りお礼</li> <li>・令和元年10月～介護報酬及び利用者負担額（食費・居住費）の改定について</li> <li>・「尚古園だより」をお届けします</li> </ul>																								
10月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご長寿をお祝い申し上げます</li> <li>・衣替えの季節となりました</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・感染症委員会からのお知らせ</li> </ul>																								
11月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月～利用料金変更のお知らせ（確認）</li> <li>・恒例の年末大掃除参加ご家族大募集</li> <li>・餅つき大会開催</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・防寒衣類について</li> <li>・医務、感染症対策委員会からのお知らせ</li> </ul>																								
12月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご面会の方へお願い</li> <li>・冬季（～3月末まで）の外出・外泊についてのお願い</li> </ul>																								
1月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会からのお願い</li> <li>・年末大掃除へのご協力ありがとうございました</li> <li>・餅つき大会の参加ありがとうございました</li> </ul>																								
2月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策委員会よりお知らせ</li> <li>「面会制限にご協力頂きありがとうございます」</li> </ul>																								
3月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策にご協力頂き有難うございます</li> </ul>																								

(2) ご家族との共同活動

月日	参加家族	内 容
6月8日	17家族 29人	大掃除(ベランダの窓・網戸・サッシの棧等)、懇親会
12月14日	13家族 16人	大掃除(ベランダの窓・網戸・サッシの棧等)、懇親会

## 10、利 用 者 の 状 況

(1) 年 齢 ・ 性 別

令和2年3月31日現在

性別\年齢	50 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	95 ~ 99	100 以上	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	0	0	1	1	3	0	5	3	1	0	14	99	68	84.01
女	0	0	1	3	6	10	6	21	14	5	66	102	68	89.04
計	0	0	2	4	9	10	11	24	15	5	80	/	/	88.07

(2) 在 園 期 間

令和2年3月31日現在

性別\期間	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上	計	1人当たり平均在園期間
男	6	6	2	0	0	0	0	14	1年4ヶ月
女	15	16	12	20	2	1	0	66	3年9ヶ月
計	21	22	14	20	2	1	0	80	3年4ヶ月

(3) 退園理由

令和元年度退園者

区分 性別	死亡			長期入院 見込み	ご家族 の 希望	その他	計
	施設	病院	家庭				
男	2	1	0	3	0	0	6
女	12	3	0	1	0	0	16
計	14	4	0	4	0	0	22

(4) 入園前居所

令和元年度入園者

区分 性別	在宅	病院	養護老人 ホーム	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	グループ ホーム	ケア ハウス	短期入所 施設	計
男	0	1	0	0	0	1	0	5	7
女	3	3	0	0	0	0	0	9	15
計	3	4	0	0	0	1	0	14	22

令和2年3月31日現在

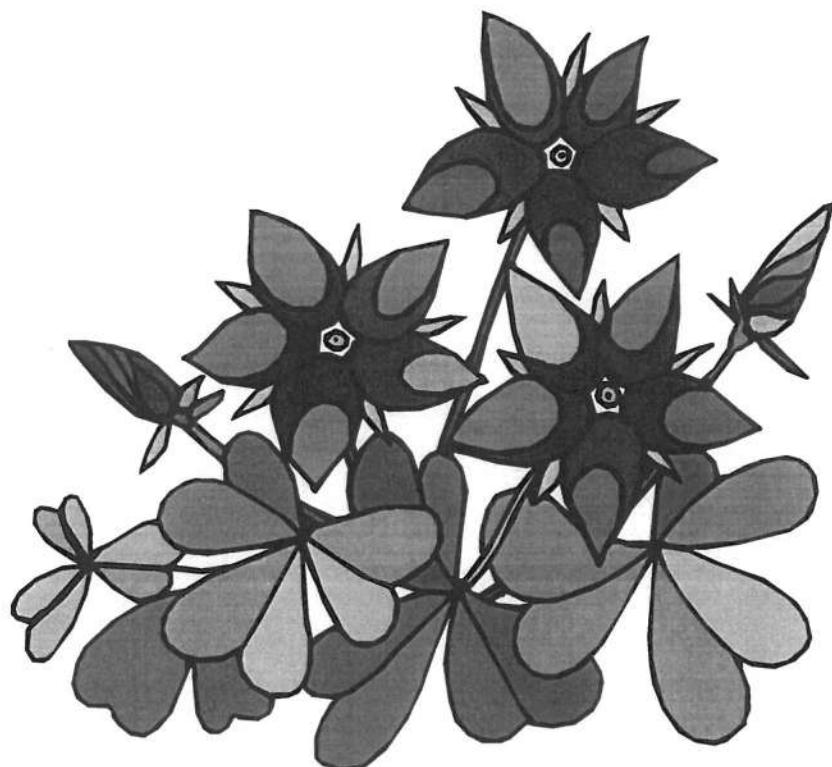
区分 性別	在宅	特別養 護老人 ホーム	ショー ト 専門棟	病院				老人 保健 施設	グループ ホーム	ケアハ ウス	その 他	計
				一般	療養型	リハ ビリ	精神 科					
男	0	0	2	2	0	1	1	1	0	0	7	14
女	12	0	11	6	1	5	1	11	1	0	18	66
計	12	0	13	8	1	6	2	12	1	0	25	80

(5) 介護度別人数の変化

入園者

介護度	H31.3.31 現在	R2.3.31 現在
1	4	1
2	6	5
3	18	21
4	31	27
5	20	26
合計	79	80
平均介護度	3.78	3.9

# サテライト特養尚古園





# 1、利用者生活支援状況（報告）

## （1）支援方針総括

支援方針である、住み慣れた地域でこれまでの生活を継続できるよう、地域密着型施設、ユニットケアの利点を最大限に活用した生活支援を実践してきた。

ご利用者が安全に生活できるための事故防止対策は、管理的に行えば抑制を招きかねないことから、「ご利用者の生活をどのように護るのか」という点に焦点をあて、環境整備やご利用者の生活リズムの把握に努め、過度な管理にならないよう留意してきた。

特に介護職員は担当制から、ご利用者が心身共に健やかな状態で暮らしてゆけるよう、他の専門職への情報提供や協働を行いチームとなって適切なケアの実施、生活支援を行えることを目指してきた。

しかし近年の介護保険制度改正によって、要介護3以上でなければ特養に入れないなどの要件から、入園時点での高齢化率や心身の健康状態、体力が著しく低下している方も多く、平均在園期間も3年と短くなっている。

今年度は延べ数で16件の入院者。退園者が10名（うち9名は入院等によりご逝去）で、20人定員の施設では1階のご利用者が全員入れ替わったことになり、数年前では考えにくいものである。

今後も入園に際しては同じ状況が続くことが予測されるため、今後は今まで以上に健康状態等の変化に留意したケアを行ってゆくことが必要とされる。

## （2）各部署からの報告

### <看護>

高齢で基礎疾患を持ち、人生の終盤にある方々であるという認識のもと、住み慣れた環境での生活が維持できる事を目標に、日々の健康管理を行った。

### <管理栄養士>

栄養カンファレンスを通して、多職種間での情報を踏まえ、食事内容の検討を行い栄養状態の改善・維持に努めた。

加算対象の療養食も継続し、疾病の悪化を防ぐための食事療法も実施できている。歳時記に合わせた食事や行事・イベント食の提供も、好評を得ており今後も継続していく。

今年度は、環境整備後の時間を頂き、施設で人気のメニューをご家族にも召し上がって頂く試食会を行い、味は勿論、施設での工夫やこだわりなど話をすることができ、好評を頂いた。

委託業者様や食材業者様とムース食や、やわらか食材、イベント用の食材など、情報交換や、試食を行うことにより、より食べやすい料理提供に努めた。

### <介護>

サテライト特養尚古園では、令和元年の年間目標として、地域密着型介護施設のユニットケア推進と、それに基づく良質な個別ケアの提供を掲げた。

その具体的な内容としては、

- ・ 各入居者の「暮らし」を正しく認識し、その方に寄り添い、その方の暮らしを支える介護の実践
- ・ ユニットケアの概念を各職員が正しく理解し、その考えに基づいた個別性を重視したケアの提供
- ・ 入居者一人一人の個性が輝き、それぞれの生活リズムに沿った自然な生活が営める環境の構築
- ・ 各入居者が、ごく普通の生活が営める、笑顔と喜びにあふれた場である為に、教育・研修等を含め、レベルの高い介護を提供する為、各職員のスキルアップと意識・人格の向上をはかる

という点に重点を置き実践すべく努力をしたが、令和元年度の我々を取り巻く諸事情は、想像以上に困難

を極めるものであった。入居者の全体的な介護度の重度化と、それに伴う入院者や退去者の増加は例年に無いほどの数であり、全入居者 20 名中 10 名が退園されるという状況であった。

それに伴う新規入所者への対応が重なることで、入居されている皆様への従来通りのサービスを提供する為の体制の維持を続ける日々であり、目標達成度は決して高いものとは言えないのが現況である。

社会全体を取り巻く介護業界における現状は、介護を担う人材不足等を始め、決して楽観視できるものとは言えない状況にある。まさにそうした状況がサテライト尚古園でも起きていたと実感している。

また、年度末を迎えた頃より、世界中におけるコロナウイルスの蔓延と、これによる施設内への立ち入り制限等が実施されている状態にあり、緊急事態ではあるが、本来であるならば社会に開かれているべき地域密着型介護施設の本質と、大きくかけ離れた状態であると思われる。

このような厳しい状況は今後も継続すると予測されることから、令和 2 年度はいわば危機管理のモードにあるという事を念頭に置き、入居されている皆様の生活を守るという観点から緊張感を持って職務に当たりたい。

#### <介護支援専門員>

利用者様、ご家族の意向に沿い、個別性と自立支援を重視したサービス計画の作成に努めてきた。

サービス担当者会議では、利用者様の状態の報告や意向を汲み取る中で支援内容を話し合い、多職種との情報共有の場を持つことで信頼関係の構築を意識し、多様なニーズに対しても柔軟に対応出来るよう努めた。

居室担当制となり、細やかな個別ケアに繋げられつつあるが、個々の課題について今後もその都度話し合い迅速に対応してきたが、今年度は入退院を繰り返す方や入退園者が増加し、その対応に追われてしまい、アセスメント不足を感じている。

経過記録、評価表、アセスメントの整合性があり計画に反映されるように努めたい。

### (3) 各委員会・係からの報告

#### <防災委員会>

職員の防災意識向上に努めるべく緊急避難行動を想定した訓練を実施し、多くの職員が積極的に訓練等に参加し防災意識向上を図れた。今後は防火の他に大規模震災の教訓を活かした総合的な防災対策の検討を視野に入れ、防災設備会社や消防機関等との連携含めた対応も取り入れていきたい。

#### <食事検討委員会>

利用者様からの要望や意見などを話し合い、出来る限り希望に沿った食事提供ができるよう努力した。給食業者や施設スタッフとの連携により、行事・イベント食の提供ができた。食べる楽しみの時間や自己選択できる機会のひとつとして、おやつのセレクトやお好み食の提供を継続する。

多職種間での情報交換により、衛生管理の徹底や、利用者様の身体、疾病状況に合わせた食事の提供を行なうことが出来た。

#### <介護事故防止委員会>

アクシデント・ヒヤリハットレポートが作成された際は、即座にスタッフミーティングにて分析を行ない、事故傾向、事故原因の追究から対策を講じ、各職員に事故再発の啓発を行なった。事故防止委員会も 2~3 ヶ月おきに開催し、該当月に発生した事故の再分析と防止対策の徹底を行なった。また事故防止の為の研修も年度中に 2 回実施し、事故防止の為の教育活動を行ってきた。

こうした事故防止の努力を続けてきたが、1 月度に入園して 3 日目の方が夜勤帯においてホールにて転倒、左大腿骨転子部骨折により入院という重大アクシデントが発生している。

入園後間もない状況でご利用者の生活リズムを把握しきれない状況であったが、専門職種間の連携を密

にして安全面での対応を実施してゆくことが今後も重要と考える。

今後も事故の発生を完全に抑止する事は困難であるとしても、重症化、重篤化をしないよう、環境整備等も含めて対策の構築と職員に対する安全啓発活動を行って行きたい。

#### <身体拘束廃止委員会>

ご利用者の重度化に伴い、認知症状も中重度の方が増加している。これによって危険に対しての認知不足から、転倒などの事故リスクが非常に高くなっている。

そのため安全を重視することが行動抑制に繋がりやすい環境になってしまい、生活支援の基本である安全、安心できる環境を求めつつ、グレーゾーンと呼ばれる領域（身体拘束の一歩手前／スピーチロック等）を各職員がきちんと認識して生活支援に繋げるかがこれからも課題となる。

#### <感染症対策委員会>

1月に利用者2名のA型インフルエンザ発症があった。嘱託医の指示のもと、全利用者様と職員は迅速にタミフルの予防投与を行い、かつ基本的な感染症対策を徹底した。幸い、重症化や集団感染に至る事は無かった。

職員教育としては、6月に新人看護職員が、「高齢者施設での基本的な感染症対応」についての外部研修に参加し、7月には伝達研修と、管理栄養士の食中毒予防について、11月にはノロウイルス嘔吐物処理法の勉強会を行った。

#### (4) ご家族・地域との交流

今年度も年2回開催した環境整備において、ご家族との定期的な交流会を開催。

アンケートを実施しご家族からの意見を支援に反映できるようにすすめている。

特に今年度はアンケート結果から希望の多かった、施設の食事を試食したいという要望に沿い、11月の環境整備後の家族交流会時に、柔らか食材を使った煮物やご利用者から好評を得ている数種類のサンドイッチ、行事食などの試食をしていただき、ご家族からも大変好評で、より施設での食に関する取り組みを理解していただけたと評価している。

運営推進会議開催月はご家族に持ち回りとしていただいたことで、より施設運営に様々なご意見をいただくことが出来た。

地域との交流に関しては、実際に暮らしている住民が少ないこともあり、地域活動そのものが減少している。そのため中心部で開催される七夕祭りや大神祭、信玄公祭りなどの祭りに出向くことしか、地域の活性化には役立てていないようと思われる。

今後もこの点は大きな課題ではあり、検討課題となっている。

## 2、年間行事

	年 間	月 間	週 間	隨 時
H31. 4月	花見外出 サテライト開設記念日（12日）	お誕生日会 好みメニュー 美容院の日 買い物の日 甲府市介護相談員 訪問	内藤 Dr. 回診 余暇の日 (日曜日) 居室内整備	歯科往診
R1. 5月	端午の節句 母の日（食事イベント） ＊目前で天ぷらを揚げて 召し上がっていただく			防災訓練
6月	父の日			サービス担当者会議
7月	七夕・土用の丑の日			レクリエーション
8月	サテディ合同納涼会			外出・散歩
9月	十五夜・敬老会			地域行事への参加
10月	十三夜・紅葉狩り			
11月	お楽しみランチ ＊目前でお寿司を握って 召し上がっていただく			
12月	クリスマス会			
R2. 1月	新年祝賀会 七草			
2月	節分			
3月	ひな祭り			

## 3、職員研修状況

### (1) 施設外研修

日 時	開催主体	内 容	参 加 者	開 催 地
R1. 5月 25日	富士見高原病院	高齢者施設での感染症対策の基本	1	甲府市総合市民会館
R1. 5月 29日	甲府市福祉保健部指導監査課	甲府市介護サービス事業者集団指導	1	甲府市総合市民会館
R1. 9月 12, 13日	日本介護福祉士会	技能実習生指導員講習会講師養成研修	1	東京学院ビル
R2. 1月 10日	甲府市労働基準監督署	介護事業者を対象とした労務管理等に関する講習会	1	甲府市総合市民会館
R2. 1月 8日	山梨県介護福祉士会	実習指導者フォローアップ研修	1	福祉プラザ

(2) 施設内研修

期 間	内 容	発表・講師等
R 1.5	身体拘束・虐待防止・人権擁護について	教育研修委員会
R 1.6	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・	所長
R 1.7	衛生管理食中毒の予防	管理栄養士／看護師
R 1.8	認知症ケア I	教育研修委員会
R 1.9	防災教育	防災担当
R 1.10	事故防止 I	事故防止委員会
R 1.11	感染症予防対策	看護師
R 1.12	認知症ケア II	教育研修委員会
R 2.1	ターミナルケアと褥瘡の予防	介護福祉士
R 2.2	事故防止 II	介護福祉士

4、ボランティア受け入れ状況

個人・グループ数	年間延べ人数	内 容
2組	18人	話し相手 納涼会の手伝い 等

## 5、利用者の状況

### (1)年齢・性別

平成 31 年 4 月 1 日

年齢 性別	60 70	70 74	75 79	80 84	85 89	90 94	95 99	100 以上	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	0	1	0	0	0	1	0	0	2	90	74	82.0
女	0	0	2	3	6	5	0	2	18	102	77	88.7
計	0	1	2	3	6	6	0	2	20			88.0

令和 2 年 3 月 31 日

年齢 性別	60 70	70 74	75 79	80 84	85 89	90 94	95 99	100 以上	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	0	0	1	0	0	0	1	0	2	96	75	85.0
女	0	0	1	3	7	3	1	3	18	103	78	89.0
計	0	0	2	3	7	3	2	3	20			88.9

### (2)在所期間（令和 2 年 3 月 31 日現在）

\* 平均在所年数 3 年 0 ヶ月

男性:1年4ヶ月 女性:3年2ヶ月

### (3)入退所状況

\* 令和元年度 退所者 10 名 入所者 10 名

\* 令和 2 年 3 月 31 日現在 入所者数 20 名

病院で死亡	5	長期入院見込	3
施設で死亡(看取り介護)	2	ご家族の希望	0
家庭で死亡	0	本体への移動	0

### (4)入所前居所

令和元年度入所者合計10名

在宅	4	グループホーム	0
(短期入所生活介護専門施設)	1	老人保健施設	2
(小規模多機能型施設)	0	養護老人ホーム	0
サービス付き高齢者住宅	2	ケアホーム	1

## (5)外出・外泊状況(家族対応のみ記載)

外出先 年月	自宅／親族宅		外泊		買い物・交遊		その他		月別計	
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
H31.4月	2	4	0	0	2	4	0	0	2	4
5月	2	3	0	0	2	3	0	0	2	3
6月	2	7	0	0	2	7	0	0	2	7
7月	2	6	0	0	2	6	0	0	2	6
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	3	6	0	0	3	6	0	0	3	6
10月	3	7	0	0	3	7	0	0	3	7
11月	2	5	0	0	2	5	0	0	2	5
12月	2	5	0	0	2	5	0	0	2	5
R2.1月	3	3	0	0	3	3	0	0	3	3
2月	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	47	0	0	22	47	0	0	22	47

## 入退院状況

No	性別	要介護度	入院先	病名	備考
1	女	4	甲府共立病院	気管支炎	施設に帰園
2	女	5	甲府共立病院	気管支炎・肺炎	施設に帰園
3	女	4	順聖クリニック	尿路感染	施設に帰園
4	男	2	市立甲府病院	肺炎	入院中誤嚥性肺炎で死亡
5	女	4	巨摩共立病院	尿路感染	施設に帰園
6	女	4	順聖クリニック	ターミナル期	入院2か月後死亡
7	女	4	甲府共立病院	気管支炎・肺炎	施設に帰園
8	女	3	甲府共立病院	ターミナル期	入院中死亡
9	女	5	順聖クリニック	ターミナル期	療養型移行
10	女	4	山梨病院	イレウス	入園当日入院・施設に帰園
11	女	4	甲府共立病院	気管支炎・肺炎	年間3回入院・入院中死亡
12	女	4	甲府共立病院	腸管内出血	入院中死亡
13	女	3	山梨病院	大腿骨頸部骨折	手術後施設に帰園
14	女	3	順聖クリニック	ターミナル期	入院中死亡
15	女	3	城南病院	誤嚥性肺炎	入院中死亡
16	男	4	市立甲府病院	肺炎	施設に帰園

(6) 介護度別人数の変化

介護度	H31.4.1現在	R2.3.31
要介護 1	1	1
要介護 2	2	1
要介護 3	7	9
要介護 4	5	6
要介護 5	5	3
合計	20	20
平均介護度	3.52	3.47

## 6、運営推進会議の開催

指定地域密着型サービス事業者として定期的に「サテライト特養尚古園運営推進会議」を開催。

運営推進委員：ご利用者代表、ご家族代表、地域包括支援センター、民生委員、地域代表、学識経験者  
施設参加：施設長、ユニットリーダー、生活相談員、ケアマネージャー、管理栄養士 等

第1回 運営推進会議（令和元年5月27日 14:00～）

1. 今年度の推進委員の紹介
2. ご利用者の状況等～昨年度の取り組みの報告
3. 感染症対策報告～4月の風邪症状の蔓延に関して
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

第2回 運営推進会議（令和元年7月29日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症・食中毒対策報告
3. 活動状況報告～施設内環境整備（家族交流）報告
4. 苦情要望窓口より
5. その他～法人全体での介護職員不足について

第3回 運営推進会議（令和元年9月30日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告
3. 活動状況報告～デイ合同夏祭りの様子、施設最高齢のご利用者の山日新聞取材について
4. 苦情要望窓口より～第三者委員会開催報告
5. その他～介護職員不足の対策とご協力の依頼について

第4回 運営推進会議（令和元年11月25日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告
3. 活動状況報告～施設内環境整備（家族交流、食事の試食会）報告
4. 苦情要望窓口より

第5回 運営推進会議（令和2年1月27日開催予定）インフルエンザ感染症予防のため中止

第6回 運営推進会議（令和2年3月30日開催予定）新型コロナウイルス感染症予防のため中止

# 尚古園デイサービスセンター





## 1、利用者生活支援状況（報告）

### （1）総括

令和元年度は運営稼働率の向上と、よりご利用者一人一人に合った支援の実施、余裕を持った入浴サービスの提供、季節を感じていただく外出サービスの提供、関係機関及び事業所との連携を強化することにより、サービスの質の向上を図ることを目標として1年間活動を行ってきた。

年間の稼働率はおよそ72.92%であり、目標値の80%は達成する事はできなかったが、昨年度(65.56%)との比較では約7パーセントの増加であった。目標未到達の主な要因は昨年と同様に利用者のADL低下の為の施設入所や入院、体調不良による利用中止などであった。

また、平均介護度においては、全体とすると昨年と同様に上昇傾向であり、ハード面の活用と共にソフト面での対応ができる環境とケアによって、適切な通所介護サービスを提供することができた。

レクリエーションや訓練、運動等の要素においても、提案・検討・実施・評価を繰り返し、マンネリ化防止に努め、ボランティアや地域との交流機会をはかりながらコミュニケーションや客観的な刺激を受けつつ、運営向上に活かした。

1年を通じ、安定した体制の中で育成やケアの向上を行いながら、ご利用者にとって安心・安全・快適な空間の場を提供し、ADLやQOLの維持・向上につながる関わりを行うことができた。

### （2）利用者生活支援

#### ① 入浴サービス（一般浴・リフト浴・機械浴・展望浴）

ご利用者一人一人の健康状態を把握しつつ、身体状態に合わせた介助の方法や設備を活かした入浴サービスを提供している。入浴中は十分な見守りのもと、安全に安心して入浴をしていただけるよう観察と配慮をし、全身状態の把握や清潔の保持に加え、動作一つ一つに生活リハの観点から入浴に係る行為やマッサージ等、意欲を引き出しながら、ご利用者の能力に沿って入浴サービスを実施した。

また、入浴サービスの提供時間や場所においても「ゆっくり温まり、くつろげるようなお風呂」を目指し、午後の時間やイベントの一環としての展望浴の使用を毎月行うことで、よりご利用者から好評をいただいた。ラジウム効果のある温水や入浴剤を使用した変わり風呂も定期的に継続実施し、入浴サービスの拡大を行った。また、日ごろの創作活動の一端として壁画飾りをご利用者と協同作成し、入浴のたのしみを提供できる浴室の雰囲気作りを図った。

#### ② 給食サービス

管理栄養士の献立のもとバラエティーに富んだメニューと、高齢者向けの味付けが大変好評である。食器は陶器を使用し、嗜好や摂取量、療養食の提供、ご利用者の状態に合わせた食事提供に対応し、ご飯と汁物はデイのキッチンで盛り付けのパフォーマンスを行なっている。また食事中の見守りを図り、食事介助が必要なご利用者への適切な援助と共に、食の楽しみを感じられるようにしている。

食前の嚥下体操の実施は目的と効果を説明しつつ、アレンジを重ねながら自宅での活動に繋がるようご利用者へ働きかけを継続している。

また、年間の手作りおやつは担当スタッフが毎回工夫を凝らしながら季節を感じられる内容や、楽しみを感じられる作業を工夫し、「自分達で作る」楽しさを提供することができた。クオリティの追究をしながら懐かしさや美味しさを感じられるよう工夫した。

### ③ 介護サービス

在宅生活が継続できることをベースの考えに置き、ご利用者の心身の状態・生活の状況に応じたニーズを適切に把握するように努め、一人一人に合った介護サービスを提供した。

在宅生活をするための必要な動作やニーズに合わせたデイでの過ごし方を考えながら、QOL 向上を意識したケアの実践や、安全を前提とした関わりの中で介護サービスを提供できた。

ご利用者一人一人の状態や性質、ニーズの理解から、できること、できていること、できるであろうことの観察や対応を図り、在宅生活が継続できるようアプローチを展開した。

### ④ 日常動作訓練

送迎から始まり、デイサービスセンター内でのご利用者の動作全てを生活上のリハビリと捉え、移動・食事・入浴・排泄等の行為の際もご利用者の残存能力を引き出すようアプローチし、自立の重要性、生活意欲の向上に繋がるようサポートした。

個々のニーズに合わせたリハビリの内容としては、集団体操をベースにし、車椅子から椅子への移乗や、ベッド上の体操や姿勢保持、平行棒を使用した歩行訓練等を行い、多目的室を活用しながら、座り立ち運動やマッサージ器、滑車機器、エアロバイクを使用した個別場面を設け、運動機能向上へのサポートを行った。

### ⑤ 健康状態の確認

看護職員を中心にバイタルチェック（毎回）・体重測定（月1回）、ご利用者への問診を行い、普段と状態に変化がある場合や急変の際に、迅速にご家族や担当のケアマネジャーとの情報共有や受診等のアドバイスを得る中で、タイムリーな連携を図ることができた。

また生活上の指導や助言を行うことにより、通常の健康状態を把握したり、内服薬の情報を得たりすることができ、ご利用者からの相談にも応じることが出来た、必要に応じて主治医等からの助言を得るなど仲介的なサポートも行った。

### ⑥ 送迎サービス

ご利用者の身体状態や特性に合わせた車両選定と、送迎ルート、自宅周辺の土地環境を把握しながら、常に安全運転を心がけ、快適に乗車し、安心して通所していただくよう送迎を実施した。

車両の点検・整備は月1回を行い、車内・車外の清潔に努め、寒暖差への配慮、また特に感染症対策の一環として車内の消毒清拭は通年対応としている。送迎はご利用者・ご家族との直接コミュニケーションを図れる場面でもあり、情報の共有や生活のアドバイス等を行うことで共通理解を持つことができた。

### ⑦ レクリエーション・余暇活動

季節の移り変わりを感じられるよう工夫しながら、ADL の向上を目指し、ご利用者間の交流による社会性の向上、生活の活性化を目指し創意工夫した。

年間行事に実施している外出を中心に季節の移り変わりや土地環境の変化などを感じられるような企画をし、個々のニーズに合わせた実施を行う事ができた。

また、余暇活動の一環では、浴室の壁画作成やフロア内に飾る装飾物などをご利用者と共同で行い仕上げることで、個々の役割や作業的要素を含め、心身や認知機能の活性化を活発に行うことができた。

### ⑧ 生活相談・援助

常に明るく何でも話せる雰囲気作りを心がけ、ご利用者間の問題にも早期に対応し、話し合うこと、職員がじっくり話を聞く事で問題解決に望んでいく事が定着した。

ご利用者の生活状況に応じ、家庭訪問を行い話し合うことや、電話をすることで安心感を持って

いただけよう対応することで継続的な利用や都合に合わせた追加利用などの相談を受け、より信頼を築ける関係を作る取り組みができた。

他事業所の介護支援専門員、関係専門職との情報の共有を深めるために、毎月のご利用者の状況や課題点、介護計画の変更の提案などを文書にまとめ、各事業所へ直接相談員が訪問する形をとっている。訪問することでタイムリーな相談や信頼関係を築くことができ、新規利用の相談受注や並行した情報収集をすることができ、事業間の窓口同士での顔が見える関係の構築ができた。

#### ⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、ご家族やケアマネジャーより依頼のあった場合は、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認などを行い、可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上さらには在宅生活の維持につながり、充実した内容の介護を実践することができた。また、認知症等何等かの事情においてご家族と協働する場面についても、継続した対応を図ることで、安定したご利用に繋がっているケースもあった。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議・ケース会議	毎月 1回	・行事確認 ・利用者の変動、利用状況
サービス担当者会議	随 時	・数回実施（状態変化等）
業務改善会議	毎月 1回	・業務改善事項の検討 ・サービス向上の検討
食事検討委員会	年 4回	・嗜好状況の報告、検討 ・行事食等の検討

## 3、職員研修状況

### (1) 事業所外研修

期間	主催	参加	研修名	場所
H31.4月23日	山梨県老人福祉施設協議会	1	甲府ブロック会議	山梨県福祉プラザ
R1.5月31日	山梨県老人福祉施設協議会	1	定期総会 管理職セミナー	アピオ甲府
R1.10月15日	山梨県老人福祉施設協議会	1	21世紀委員会	小瀬スポーツ公園
R1.10月17日	山梨県公安委員会	1	安全運転管理者等講習会	敷島総合文化会館

(2) 事業所内研修（法人研修含む）

実施日	研修内容	担当・講師等
R1.5月18、24日	権利擁護研修	法人教育研修委員会
R1.6月9日	標準的感染症対策と自身の振り返り	法人感染症対策委員会
R1.6月18日	職業倫理・個人情報保護・プライバシー保護・衛生管理・接遇、マナーについて	尚古園デイリーダー デイ生活相談員
R1.7月23日	デイサービスにおける事故防止・事故発生時における取り組み	尚古園デイ介護職員
R1.10月22日	防災教育～地震災害を学ぶ～	尚古園デイリーダー
R1.11月26日	デイサービスにおける感染症・食中毒蔓延防止 (感染症事例デモンストレーション)	尚古園デイ看護職員 〃 リーダー
R1.12月17日	褥瘡防止に関する知識ととりくみ・ターミナルケアの考え方	尚古園デイ介護職員
R2.2月18日	介護アセスメント力の見直しと向上	尚古園デイリーダー
R2.3月17日	身体拘束・虐待防止に関する考え方の復習	尚古園デイ介護職員

#### 4、ボランティア受け入れ状況

個人・グループ数	年間延べ人数	内容
3組	21人	清掃（屋内外、車両）、行事手伝い、 散歩付き添い、レクリエーション補助 利用者とのコミュニケーション等

#### 5、実習受け入れ状況

実習者	実習内容	期間	実人数	延べ人数
教職免許法特例法による 「介護等体験」社会福祉 施設等受入調整事業	介護等体験	9/2～9/6	1	5

## 6、利用者の状況

### (1) 行事状況

実施月	内 容	日程・場所	参加人数	手作りおやつ	実施日	参加人数
H31年 4月	花見会 (花見入浴)	1日・4日・6日 デイサービス前	1日 19名 4日 18名 6日 19名	和風抹茶 プラマンジェ	22日 23日	18名 17名
R1年 5月	母の日	6日～11日 展望浴	40名	ワインナーとキャベツのパンケーキ	22日 23日	18名 18名
6月	父の日	15日 デイサービス内	21名	かぼちゃの 水ようかん	21日 22日	17名 20名
7月	七夕	1日～7日 デイサービス内・外	40名	ゆで小豆の 水ようかん	15日 16日	19名 18名
8月	納涼行事 (スイカ割りかき氷、 夏祭り)	15日スイカ割り 20日夏祭り 24日かき氷 デイサービス内	15日 15名 20日 18名 24日 23名	フルーツ葛切り	21日 22日	21名 20名
9月	敬老会	9日 デイサービス内	19名	かぼちゃと さつまいもの チーズボール	20日 21日	18名 23名
10月	運動会	8日 デイサービス内	19名	れんこんと 豆腐白玉の胡麻 クリームソース	21日 22日	20名 20名
11月	紅葉行事 (外出)	11日 小瀬スポーツ公園	18名	ゆずラスク	20日 21日	23名 22名
12月	クリスマス会	25日 デイサービス内	22名	クリスマス 抹茶蒸しケーキ	20日 21日	22名 20名
R2年 1月	新年祝賀会 初詣外出	4日～5日 デイサービス内 1月14～2月8日の間	4日 18名 6日 18名 26名	みたらし団子	20日 21日	18名 18名
2月	節分	2日 デイサービス内	18名	ティラミス	19日 20日	18名 20名
3月	桃の節句	3日 デイサービス内	18名	カスタードクリーム のせパンケーキ	20日 21日	17名 17名

※レクリエーション（みそ汁作り、俳句作り、カラオケ等）～毎日日替わりで実施。

※外出行事に関しては、春・秋以外に希望を踏まえた個別対応（少人数）を随時実施。

※誕生日会～当月利用日が近い日に実施。

※手作りカレンダー～毎月実施

※体重測定～月の前半に実施。

※防災訓練～年2回実施。

※展望浴～随時実施。

(2) 要介護度別利用状況

年月日	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	合 計	平均要 介護度
H31. 4月	1	25	43	164	66	98	45	0	442	2.7
R1. 5月	5	24	32	181	75	85	54	0	456	2.7
6月	4	17	46	172	69	82	49	0	439	2.7
7月	4	18	44	183	68	86	56	0	459	2.7
8月	5	19	42	164	49	76	72	0	427	2.8
9月	4	19	68	150	75	101	62	0	479	2.7
10月	4	18	60	154	100	117	68	0	525	2.8
11月	5	20	70	137	104	99	61	0	498	2.8
12月	4	22	66	134	111	111	67	0	515	2.8
R2. 1月	4	19	51	127	87	106	63	0	457	2.9
2月	4	25	55	125	81	71	63	0	424	2.7
3月	0	24	68	140	79	53	91	0	455	2.8
合計	54	352	645	1,831	964	1,085	751	0	5,576	2.8

# 縁が丘デイサービスセンター





# 1、利用者生活支援状況（報告）

## (1) 総括

長年、地域と共に事業活動を行ってきた緑が丘デイサービスセンターは令和2年2月29日をもって事業廃止となった。

今年度は、昨年度からの危機的な運営危機を脱却するため、緑が丘デイ事業改革プロジェクトでの協議を経て、具体的な事業費の削減と稼働率の増を目指し事業改革に取り組み、持続可能な稼働目標として稼働率60%を確保することで事業の継続を図る取り組みを実践してきた。

しかし、職員の懸命な取り組みにも関わらず、稼働率は4月が59%、5月が50%、6月が55%と稼働目標には達することは出来ず、一時的に60%の稼働率を超えることは有り得るが、利用者の高齢化が進む中での、入院や施設入所等による利用の休止や、デイサービス業界の競争激化等の状況から、年間を通じて、稼働目標の60%を達成することは難しいという結論に達し、令和元年8月31日で事業を休止した。

ご利用者や居宅介護支援事業所からは、存続を希望する声も多くあったが、休止に至るまでの経緯や、ご利用者の今後の対応を丁寧に説明することで、ご理解をいただくことができ、全てのご利用者の対応を終えることができ、令和2年2月29日に、所轄庁の甲府市に廃止届を提出し、平成16年3月1日より16年間運営を行ってきた事業を終了した。

## (2) 利用者生活支援

### ① 入浴サービス（一船浴）

「完全個浴」という大きな特色を活かし、1人1人に合った支援・ペースを大切に関わってきた。

1対1での関わりの中で、身体の動きや皮膚の状態等、こまかに状態変化にも気付くことができ、ご家族様との情報共有を行うことができた。入浴中のみでなく、前後の健康チェックや水分補給に心掛け、体調不良を引き起こすこともなく、安全で快適な入浴を提供できた。

### ② 給食サービス

手作り料理を提供している事業所として、そのメリットを最大限に生かせるように、当日の気候やご利用者様に希望を聞いて決定する等のスタイルを、例年通り継続して行った。また行事食にも力を入れ、大変ご好評いただいている。

食事の時間を長めに設定することで、慌てることなく、ご自分なりのペースでゆっくり召し上がる雰囲気も提供することができたと感じている。

### ③ 介護サービス

在宅生活を継続できることを念頭に、ご自宅の環境等を考慮しながら関わる様に心掛けた。過度な関わりにならない様に注意する中でも、安全面に配慮しながら関わってきた。また、機能低下により生活動作をスムーズに行える様なアドバイスも行うように心がけた。

1人1人についた身体介護を提供することは勿論であるが、ご利用者様にとって社会交流の場としても重要な空間であることを念頭に入れたサービスの提供を、今後も継続して行っていきたい。

### ④ 健康状態の確認

ご利用時は、健康状態の確認を毎回行っている。体重測定は毎月1回実施。状態の変化があった時には、ご家族に報告し受診等の対応の依頼やアドバイスを行った。また、ご自宅での服薬管理が難しい場合には、飲み忘れの確認などのサポートも行った。

#### ⑤ 送迎サービス

常に安全運転を最優先に送迎を行った。ご家族の不在など都合に合わせ送迎時間の調整や、身支度・戸締り・火の元の確認などもしている。

また送迎時にご家族とのコミュニケーションをとる事で情報の共有を行い、ご家族様の悩みの払拭やご自宅での生活においてのアドバイス等も随時行えた。

#### ⑥ レクリエーション・アクティビティ活動

洗濯物たたみや食器拭き、テーブル拭き等、ご自宅で長年やってきたと思われる家事作業を行っていただいた。黙々と行う方、リーダーシップを執る方等、個々の性格を活かして役割を持ちながら行えた。

脱マンネリを目指し、新たなレクリエーションの実施等も行ってきた。今後も継続し、多彩なレクリエーションの提供を行っていきたい。

#### ⑦ 生活相談・援助

送迎時等でのご家族とのコミュニケーションを基本に、連絡ノートの活用と、なかなかお会いできないご家族には、お手紙等でこまかに情報提供やアドバイスを随時行った。

各居宅支援事業所とは、電話連絡や訪問して情報の共有を行った。

#### ⑧ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者様の生活状況から、送迎時の戸締り・火の元の確認等の他に身支度や、衣類の管理、洗濯等を必要に応じて行う事で、何らかの事情のあるご利用者の安全、安心した生活が送れるようなサポートも行った

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月1回	・ご利用者の変動、利用状況 ・業務改善等　・ADL状況の変動、対策等
ケース会議	随時	・ご利用者の支援方法の検討および確認等
勉強会	随時	・介護保険制度に関すること ・介護、福祉、医療に関すること
献立検討会	毎週土曜日	・献立内容や食材の検討、確認

## 3、利用者の状況

### (1) 行事状況一覧

月	内 容	場 所
H31.4月	お花見	・ドライブ
R1.5月	バーベキュー	・緑が丘デイ内
6月	紫陽花見学	・武田の杜
7月	バイキング食	・緑が丘デイ内

(2) 介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均 要介護度
H31.4月	0	4	13	12	93	22	11	155	3.04
R元.5月	0	4	12	12	61	36	12	137	3.18
6月	0	5	19	11	56	38	10	139	3.07
7月	0	4	14	11	39	30	11	109	3.12
8月	0	5	27	9	62	37	12	152	2.99
合計	0	22	85	55	311	163	56	692	3.08



サテラバ尚古園デイサービスセンター





## 1、利用者生活支援状況（報告）

### （1）総括

令和元年度は地域密着型通所介護事業所として、いっそう地域に密着した施設を目指しサービス提供内容の充実に努めるとともに、相談員を中心として近隣の居宅支援事業所や包括支援センターなどの関連事業所との関係性の構築に力を入れた。

これまでに積み重ねた個々のケアの充実を目指してきたと同時に、地域密着型の特養との協働により合同納涼祭を開催し、ご利用者やご家族からも好評を頂くことが出来た。

季節ごとに地域の社会資源である祭事の参加や、近隣の保育園のボランティア受入れなど多くの方とのコミュニケーション構築にも積極的に取組むことで、地域社会との交流活動にも成果をあげることが出来た。

年間を通じて安全で安心して楽しめる安らぎの場を提供し、少人数ならではのきめ細かいケアと、一人一人にあった関わりを行う事と、原則、同性介護を実施できたことで、ご利用者的人権・人間性を尊重する基本理念に基づいた通所介護サービスの提供を行うことが出来た。

### （2）利用者生活支援

#### ① 入浴サービス（一船浴・機械浴）

健康状態のチェックを行い、身体状況やご本人に合った入浴方法を考え1対1で関わることを重視しながら、ゆったりした入浴時間を探求してきました。特に同性介護を実施することで、ご利用者のプライバシーへの配慮が徹底されました。又、着脱や洗身等ご利用者が出来る事は、ご自身で行うよう働きかけを行ってきました。身体状況に応じて、特養に併設されている機械浴を利用することで、ご利用者が安全にゆっくりと入浴することが出来た。

#### ② 給食サービス

管理栄養士の作成した献立で、季節感や目で楽しめるように工夫されたメニューを提供している。行事食が多く、食事もレクリエーションや活動に繋がるケアのひとつとして活用することができるよう、自立支援を念頭にサポートしてきた。結果として、9割のご利用者が常食提供のまま状態が低下していない。食事制限のあるご利用者に対する献立にも対応することができており、栄養管理面でのサポートも充実して取り組むことが出来た。

#### ③ 介護サービス

在宅生活が維持出来る事を念頭に、ご利用者の身体的、精神的状況に応じた介護サービスを提供した。ご利用者が在宅で生活する為に欠かせない事は、デイでも継続出来るようなアプローチを展開した。過度の介護とならないように状態を的確に把握することに努め、ご家族やケアマネ、協力事業者へも情報提供した。

#### ④ 健康状態の確認

健康状態の確認を毎回実施した。状態に変化がみられる場合はご家族へ連絡・報告、受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当へのサポートを出来る範囲で実施した。

⑤ 送迎サービス

安全を第一に、個々の状態に合わせて送迎時間等を調整し、独居の方や送迎時にご家族が不在な場合など、個々に対応が違うので生活状況に合わせ、柔軟性のあるサービスで対応してきた。ご利用者の身体能力を把握し、状態に合った送迎方法を確実にする事で、事故の無い安全な送迎を行う事が出来た。また、送迎時のご家族との情報交換を積極的にすすめて、ご利用者の生活支援に繋げている。

⑥ レクリエーション・アクティビティ活動

ご利用者が積極的に参加でき楽しみに繋がるとともに、心身機能の活性化を図れるように活動性が高まる活動を実施した。街中散歩や地域の行事や祭りに参加するなど、施設を出ての活動も活発に行い、地域社会との交流をはかることも行った。今年度は予防介護の観点から、特に運動機能の維持、向上を目標とした運動や体操を積極的に実施し活発な活動を展開してきた。ご利用者の個別の嗜好やニーズに添うような支援も実施した。

⑦ 生活相談・援助

ご利用者、ご家族から常に話を聞きやすい、話しやすいと感じられるような態勢で生活相談・援助を行っている。またスタッフ全員で情報共有し、ご利用者が自宅での生活が継続出来、ご家族の不安を軽減出来るよう努めた。ご家族との連携も密にして、ケアする人をケアする役割も果たしつつある。

⑧ 機能訓練

機能訓練指導員の配置により、ご利用者一人一人の身体状態に応じたリハビリの実施とリハビリ効果のあるレクリエーションを多く取り入れ、身体機能の低下を防止する援助を行なうことが出来た。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認、服薬確認、移乗の介助などを行い可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上に繋がり充実した内容の介護を実践する事が出来た。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	内 容
スタッフ会議	毎月 1回	・ご利用者の変動、利用状況 ・業務改善等      • ADL 状況の変動、対策等
サービス担当者会議	随時	・ご利用者のアセスメントとケアプラン作成、 及び作成したプランの評価・検討・確認のため、 家族・本人・関係職員で協議した。
食事検討委員会	毎月 1回	・ご利用者の希望に沿った、より質の高い食の 提供を目的とし、献立内容やイベント食等の検 討を行い、提供した。

### 3、職員研修状況

#### (1) 事業所内研修（法人研修含む）

期間	内容	発表・講師等
R1.5月 18、24日	権利擁護研修（法人全体研修）	法人教育研修委員会 坂本副委員長
R1.6月 14日	個人情報・プライバシー保護・職業倫理	相原所長
R1.7月 25日	衛生管理・食中毒予防	野呂瀬管理栄養士
R1.8月 30日	事故防止・事故発生時の緊急対応について	小林サテ特リーダー 梶原介護士
R1.9月 20日	防災教育	防火管理者 (高橋介護士・相原所長)
R1.10月 28日	認知症ケア	小林サテ特リーダー
R1.11月 18日	感染症・ノロウイルス対策について	感染委員会 中込看護士
R1.12月 23日	誤嚥予防と緊急時の対応	坂本サテディリーダー
R2.1月 31日	褥瘡予防について・ターミナルケアの考え方	相沢介護士
R2.2月 28日	身体拘束、虐待防止	相原所長
R2.3月 19日	デイサービスの質の向上	坂本サテディリーダー

### 4、ボランティア受け入れ状況

個人・グループ数	年間延べ人数	内 容
4組	20人	レクリエーション等

### 5、利用者の状況

#### (1) 行事状況一覧

実施日	内 容	場 所
4月～5月	お花見等、外出レク	近隣の公園（散歩等）
6月～7月	地域行事への参加（七夕作り等）	銀座通りなど
8月	サテライト特養合同納涼祭	サテライト尚古園
9月	敬老会	デイホール
10月	地域行事等への参加（ハロウィン等）	銀座通りなど
11月	お楽しみ食（握り寿司パフォーマンス）	デイホール
12月	クリスマス会	デイホール
H30年1月	新年祝賀会	デイホール
2月～3月	地域行事への参加（節分団玉つくり等）	デイホール

\*上記は主だった行事のみ記載。街中散歩、屋外レクは隨時実施

\*誕生日会～毎月1日（誕生日食メニュー） おやつ作り～毎月1回

\*防災訓練～年2回

(2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均 要介護度
H31. 4月	0	0	9	44	40	75	15	183	3.23
R1. 5月	0	0	12	53	50	89	17	221	3.21
6月	0	0	11	50	71	83	16	231	3.19
7月	0	0	10	40	79	64	15	208	3.16
8月	0	0	12	44	81	62	15	214	3.11
9月	0	4	10	40	92	58	27	227	3.23
10月	0	5	9	43	93	58	26	229	3.21
11月	0	4	12	42	86	55	25	220	3.18
12月	0	4	7	38	82	48	27	202	3.25
R2. 1月	0	4	11	35	89	44	26	205	3.19
2月	0	2	2	42	99	26	22	191	3.13
3月	0	0	7	48	99	35	11	200	2.97
合計	0	23	112	519	961	697	242	2,554	3.17

# グループホーム山径





## 1、利用者生活支援状況（報告）

- ・ その人らしさを大切にし、健康を保ち、安心で安全な環境を提供する。

入居者様によって出来る事、出来ない事があるが、その方の能力に応じた作業を提供し、また、入居者様達が気遣い助け合い、分担しながら行う事が出来ていた。100歳を迎えた方もおり、皆さん元気に過ごす事が出来た。しかし、転倒により骨折、車椅子生活へと生活スタイルが大きく変わってしまった方もいた。危険を予測しての行動を各自で意識し、アクシデント防止に努め、一人ひとりが安心して過ごせるよう、支援していきたい。

- ・ 通所の方々と交流することにより、日々の生活が豊かになるような関係を作る。

通所の方々と同じ空間で過ごす事で、来所を楽しみに待っている方もおり、良い関係性が築けている。

洗濯たたみや洗濯干し、調理補助や食事の片付け等分担し、行事やレクリエーション活動を通じて、交流・活性化に繋げる事が出来た。

- ・ 地域の一人である事を意識し、交流の機会を利用していく。

高齢化や重度化により、交流の場へ参加できる人が限られている中で、個人外出や季節の花見ドライブへ出掛けた際には、その場に居合わせた子供達と触れ合ったり、近隣スーパーへ買い物に出掛けたり、併設施設のご利用者との交流を持つ事が出来た。地域の運動会の規模縮小や、天候不良により、保育園の運動への参加も出来ず残念であった。しかし、定期的に来所して下さるボランティアの方もおり、良い関係がつくれている。重度化や個々の機能低下などから、外出の機会が減ってきているのも事実であるが、創意工夫しながら地域交流ができるよう努めていくと共に、新たなボランティアの招致も行ない交流しやすい環境を作っていく。

### 〈 総括 〉

令和元年度は、退所する方はおらず安定した生活を送る事が出来た。風邪等の発症はあったものの、重度化せず、嘱託医と連携し早期の対応に努めた。しかし、転倒により骨折、今までの生活スタイルが大きく変わり、車椅子生活へと変わってしまった方もおり、引き続き日々のちょっとした変化に気づき、観察する視点や、入居者に合わせた対応、状態把握に努め、早期発見・早期対応を行い、嘱託医と連携し不自由の無い暮らしに結びつけていく。

毎年恒例となっているバーベキュー会では、4組12名のご家族の参加が得られ、楽しい時間を過ごす事が出来、また、ご家族と交流する場となっている。なかなか来所出来ないご家族にも、個別の通信を作成し生活の様子等を写真を通して伝え、好評が得られている。

生活の場として入居者様が生き生きと暮らし、地域の一員として社会交流ができるよう、今後も努めていきた。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	備 考
リーダー会議	毎月 1回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月 1回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随 時	数回実施（状態変化等）

### 3、年間行事

年月日	内 容	場 所	利用者数	ご家族数
H31.4/2.3	桜の花見浴（展望風呂）	特養新浴室	8名	0
4/4	桜の花見ドライブ	緑が丘公園	3名	0
4/5	お花見会	玄関前広場	9名	0
4/16. 17. 18	お花見ドライブ（フルーツ公園）	笛吹川フルーツ公園	6名	0
R1.5/5	お花見ドライブ	緑が丘公園	5名	0
5/10	つつじの花観賞	緑が丘公園	3名	0
5/15. 16. 17	バラの花見観賞	旧TDK跡地	7名	0
5/25	お花見ドライブ	双葉岩森（ポピー畠）	2名	0
6/3	かがやきコンサート	甲府市総合市民会館	3名	0
7/9	オカリナ演奏会	山径ホール	9名	0
7/24	夏祭り	山径ホール	8名	0
7/28. 29	七夕飾り見物	甲府銀座商店街	4名	0
8/18	バーベキュー会	玄関前広場	9名	12名
9/5	個人外出	かつぱ寿司	1名	0
9/9	個人外出	双葉ラザウォーク	2名	0
9/10	個人外出	双葉ラザウォーク	2名	0
9/16	敬老祝賀会	山径ホール	9名	0
9/20	個人外出	はま寿司	1名	0
9/21	個人外出	はま寿司	1名	0
10/8	ミニ運動会	山径ホール	8名	0
10/9. 10	お花見ドライブ	双葉コスモス畠	6名	0
10/23	秋刀魚、焼き芋会	ベランダ	9名	0
11/6	紅葉狩り	緑が丘公園	3名	0
11/13	豚汁会、チューリップ植え	山径ホール/ベランダ	9名	0
11/25	公園散歩	緑が丘公園	4名	0
12/17	オカリナ演奏会	山径ホール	9名	0
12/26	餅つき会	山径ホール	9名	0
12/26	忘年会	山径ホール	9名	10名
R2. 1/1	新年祝賀会	山径ホール	7名	0
1/12	獅子舞	山径ホール	9名	0
1/15	初詣	護国神社	7名	0
1/14	繭玉作り	山径ホール	8名	0
2/3	節分	山径ホール	9名	0
2/20	ランチバイキング	山径ホール	9名	0

## 4、職員研修状況

### (1) 施設外研修 : デイサービス山径共通

年月日	主 催	研 修 名	参加者	場所
R1. 9. 4	甲府市医師会・甲府市	認知症の在宅医療 介護に関わる多職種の会	1	甲府市総合市民会館 芸術ホール
R1. 10. 29	山梨県社会福祉協議会	O J T リーダー研修	1	地場産業センター かいてらす
R1. 11. 20 ～21	全国老人福祉施設協議会 茨城県老人福祉施設協議会	第 76 回 全国老人福祉施設大会 茨城大会	1	アダストリアみと アーナ
R1. 12. 3	山梨県 山梨県社会福祉協議会	令和元年度 高齢者権利擁護等事例等報告検討会	1	山梨県自治会館 講堂

### (2) 施設内研修 (法人研修含む) : デイサービス山径共通

年月日	内 容	発表・講師等
H31. 5. 18 24	人権擁護（身体拘束/虐待防止も含む）（法人合同研修会） ＊どちらかの日に参加	法人教育研修委員会
R1. 6. 10	感染症・食中毒蔓延防止について（講義）	法人感染対策委員会
R1. 6. 18	個人情報・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理について	尚古園デイリーダー
R1. 8. 22	接遇について	G H 山径計画作成担当
R1. 9. 23	防災教育	防火管理者
R1. 10. 17	身体拘束/虐待防止について	G H 介護職員
R1. 11. 21	感染症対策「ノロウイルス等のデモンストレーション」	G H 介護職員
R1. 12. 19	認知症高齢者のケアについて	G H 介護職員
R2. 1. 16	事故防止/事故発生時の緊急対応について	G H 介護職員
R3. 3. 19	ターミナルケア/褥瘡予防について	G H リーダー

## 5、利用者の状況

### (1) 年齢

年齢	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100～109 歳
人数	0	4	4	1

最高年齢…100 歳

最低年齢…84 歳

平均年齢…91.4 歳

### (2) 要介護度 平均介護度…3.33

要介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	0	2	3	3	1

### (3) 要介護度の変化状況

介護度の変化状況	人数
1 → 2	1
3 → 4	1

(4) 入退所の状況

	男	女	計
入所者数	0	0	0
退居者数	0	0	0
入所前状況	0名		
退所理由	0名		

(5) 外泊状況

令和元年度は外泊者 1名（計 6 日）

(6) 入院状況

令和元年度は入院者 1名

(7) 面会状況

年 月	面 会 件 数	年 月	面 会 件 数	年 月	面 会 件 数
H31. 4月	16	8月	29	12月	19
R1. 5月	17	9月	13	R2. 1月	17
6月	13	10月	16	2月	9
7月	14	11月	16	3月	1

## 6、運営推進会議の開催

第1回 運営推進会議 令和元年 5月 23日（木） 14:00～

参加 入居者代表 2名・入居者家族 1名・和田町自治会代表 1名

北東包括支援センター1名・有識者 1名・所長・介護職員・計画作成

議題 ①入居者の生活状況と ADL・サービスの状況 ②通所の状況

③身体拘束等の適正化について ④今年度の目標について ⑤その他

第2回 運営推進会議 令和元年 7月 25日（木） 14:00～

参加 入居者代表 1名・入居者家族 1名・北東包括支援センター1名

有識者 1名・和田町自治会代表 1名・所長・介護職員・計画作成

議題 ①入居者の生活状況と ADL・サービスの状況 ②通所の状況

③身体拘束等の適正化について ④事故発生状況について ⑤その他

第3回 運営推進会議 令和元年 9月 26日（木） 14:00～

参加 入居者家族 1名・和田町自治会代表 1名・有識者 1名

北東包括支援センター1名・所長・生活相談員・計画作成

議題 ①入居者の生活状況と ADL・サービスの状況 ②通所の状況

③身体拘束等の適正化について ④利用者との日々の関りについて ⑤その他

第4回 運営推進会議 令和元年 11月 28日（木） 14:00～

参加 入居者家族 1名・有識者 1名・北東包括支援センター2名

所長・介護職員・計画作成

議題 ①入居者の生活状況と ADL・サービスの状況 ②通所の状況  
③身体拘束等の適正化について ④感染症対策について ⑤その他

第5回 運営推進会議 令和2年1月30日（木） 14:00～

参加 入居者家族1名・有識者1名・和田町自治会代表1名・北東包括支援センター1名  
所長・介護職員・計画作成

議題 ①入居者の生活状況と ADL・サービスの状況 ②通所の状況  
③身体拘束等の適正化について ④外部評価について ⑤その他

第6回 運営推進会議 令和2年3月26日（木）に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止といたしました。



# デイサービスセンター山経





# 1、利用者生活支援状況（報告）

## （1）総括

令和元年度は、上半期下半期で1名ずつの新規利用者と契約を結ぶ事が出来た。

共用型デイの特徴である、家庭的な雰囲気の中で、ご利用者それぞれのできる事、調理や洗濯物干し、洗濯物たたみ等生活が活性化できるようサポートし、役割として構築出来、一人ひとりに寄り添い個別に対応し提供する事が出来た。また、入居されている方達と交流を持つ事で、楽しみの一つとして利用している方もおり、生活意欲への向上へも繋がった。

個別の通信を作成し、ご家族には利用中の様子等を写真を通して知ってもらう良い機会になっている。

また日々の閑りの中で、ちょっとした変化や体調変化が見られる時には、ご家族、ケアマネに報告し情報を共有、早期対応に努めた。

今後も、ご利用者一人ひとりの持てる力を見極め、生活が活性化できるようサポートしていく。

## （2）利用者生活支援

### ① 入浴サービス（一船浴）

健康状態をチェックし、ご利用者の状態を把握。ご利用者の残存機能を活かしつつ、ゆっくりと個々のペースでの入浴が実施できた。皮膚の状態等、こまかな状態変化にも気付くことができ、ご家族と情報を共有し、早期に対応実施する事が出来た。桜の咲く時期には、新浴室にて花見浴を実施しても喜んで頂けた。

### ② 給食サービス

バラエティーに富んだ献立作り、適温適時の昼食が提供できた。特別食として、誕生日にはその方の好きな物を提供し喜んで頂けた。ランチバイキングも定期的に実施し、普段とは違った雰囲気での食事を楽しんで頂き、また、季節を感じて頂けるような旬の物を使用した献立も好評であった。

### ③ 介護サービス

グループホームの特性を生かして、「通所介護計画書」を作成。家庭での延長と位置付け、介護計画書に添って日常生活動作の中でサービスを提供した。ご利用者、ご家族のニーズにも随時対応できた。

### ④ 健康状態の確認

バイタルチェック、体重測定（月1回）、週2回の看護師による身体チェックを実施。普段と状態に変化がある場合はご家族へ連絡、報告し受診等の対応をお願いしている。またご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当のサポート、またできる範囲でアドバイス等も実施した。

### ⑤ 送迎サービス

ご利用者が安心して乗車できるよう、定期的に車の清掃や点検を行い、安全運転に努め事故を起こす事なく実施できた。送迎の時間を利用して、ご家族との情報交換に努め信頼関係等を深めることができた。

### ⑥ レクリエーション・余暇活動

年間行事予定・月間行事予定に添って実施した。

ドライブ、散歩など、季節の移り変わりを感じることができるよう企画に工夫した。また、昼食の準備や食器の片づけ、洗濯物を干す、たたむ等の作業を実施し、役割を持つ意識を高め、自宅で行えている事が継続できよう努めた。一人一人の持てる力を見極め、具体的な計画を組み込み実施出来た。

⑦ 生活相談・援助

日頃の会話の中やケアマネからの情報提供、送迎時のご家族との会話などから、ご利用者やご家族の不安や心配ごとを読み取れるように留意し、気を配るようにした。

担当ケアマネとの情報の共有を行うことで、一体的な生活のサポートを行えるように、毎月ご利用者の状況や生活に支障があることなどを報告していることで、より充実したサポートを実施している。

⑧ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、必要に応じて外出支援や戸締り、衣類の管理、服薬支援や洗濯等を行い、生活へのサポートも行った。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	備 考
リーダー会議	毎月 1回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月 1回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随 時	数回実施（状態変化等）

## 3、ボランティア受け入れ状況（グループホーム山径共通）

個人・グループ数	年間延べ人数	内容
4組	19人	演奏会・レクリエーション等

## 4、利用者の状況

(1) 行事状況一覧

年 月 日	内 容	場 所	利 用 者 数
H31. 4. 2. 3	花見浴（展望）	特養新浴室	3 名
4. 5	お花見会	玄関前広場	2 名
4. 18	花見ドライブ	笛吹川フルーツ公園	1 名
R1. 5. 8	花見ドライブ	緑が丘公園	2 名
5. 15. 16	バラの花見観賞	旧 TDK 跡地	2 名
5. 18	バラの花見観賞	旧 TDK 跡地	1 名
5. 25	ポピー畑ドライブ	甲斐市岩森	1 名
7. 9	オカリナ演奏会	山径ホール	3 名
7. 24	夏祭り	山径ホール	2 名
7. 29	七夕飾り見学	甲府銀座商店街	1 名
9. 16	敬老祝賀会	山径ホール	3 名
10. 8	ミニ運動会	山径ホール	1 名
10. 23	秋刀魚会と焼き芋会	ベランダ	1 名

12. 17	オカリナ演奏会	山径ホール	1名
12. 26	餅つき会	山径ホール	1名
R1. 1. 14	繭玉作り	山径ホール	1名
2. 3	節分	山径ホール	1名
2. 20	ランチバイキング	山径ホール	2名

\*誕生日会～月ごと（行事食メニュー）

\*防災訓練～年2回

## (2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均要 介護度
H31. 4月	0	0	0	0	63	0	0	63	3.00
R1. 5月	0	0	0	0	63	0	0	63	3.00
6月	0	0	0	0	57	4	0	61	3.33
7月	0	0	0	0	57	5	0	62	3.33
8月	0	0	0	0	60	5	0	65	3.33
9月	0	0	0	0	52	7	0	59	3.33
10月	0	0	0	0	36	7	0	43	3.33
11月	0	0	0	0	21	7	0	28	3.33
12月	0	0	0	13	14	5	0	32	3.00
R2. 1月	0	0	2	15	0	8	15	40	3.00
2月	0	0	8	17	0	9	14	48	3.00
3月	0	0	6	14	0	7	10	37	3.00
合 計	0	0	16	59	423	64	39	601	3.17



# 尚古園指定居宅介護支援事業所





# 尚古園指定居宅介護支援事業所

## 1、重点目標

- ① ご利用者やご家族の介護上のニーズ（必要性や要望）に幅広く応えられるように実践力を高めていく。  
状況を再確認し、ご利用者・ご家族関係者それぞれのニーズや介護上の必要性などを整理判断しながら支援方向の提案や検討を行いつつ課題解決できるよう能力の向上に努めてきた。
- ② 介護保険制度や介護支援に必要な各種制度の知識・理解を深めていく。  
行政や地域包括支援センターの主催する研修会や交流会のほか、介護支援専門員協会の活動に参加しながら知識の充実に努めてきた。また、各課題解決のため、障害者制度、高齢者福祉、成年後見人制度、生活保護制度など各種制度等を状況に応じて活用してきた。
- ③ 地域や行政など関連機関と協力しあい地域福祉に貢献していく。  
各地域包括支援センターとの連携や協力関係を重視した活動を行い、地域の集まりにも参加しつつ関係づくりを図ってきた。また、関係者からの様々な介護相談等に対応しつつ、より良い方向になるよう課題解決の調整を図ってきた。
- ④ 委託された認定調査を適確に実践していく。  
依頼された認定調査は滞りなく実施できた。

### 総括

本年度3月に居宅介護支援事業所の指定更新の届け出を行ったが、平成31年4月1日に甲府市が中核市に移行したことにより、指定居宅サービス事業所・介護保険施設などの指定権限が甲府市に移譲されており、これまで以上に保険者との連携が重要になってきている。相談される内容も多岐にわたるようになってきており、課題解決に向けてその能力を高めるよう行政や各種団体が主催する学習会や研修会に参加し関連団体との交流も積極的に行ってきました。

また、日々の活動では、地域の包括支援センターからの相談や様々な困難事例への対応が必要となっており、一層の連携や関係機関等と情報交換を行いつつ、課題解決を目指してきている。

介護支援の状況では、ご家族や介護者等との関係がうまくいっていないなど、子供のいない高齢者世帯や頼れる親族関係者が居ない方が増え続ける方向にあり、また、経済的には生活保護やその境界層の増加が進んでおり、そのニーズにどのように応えて行けるかが課題となっている。そのためにも包括支援センターや行政やなど関係機関との連携を図ったり地域の方々のご支援を得ながら福祉や医療や保健制度なども有効に活用しつつ課題解決を進めていこうと考えている。

## 2、給付管理状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
給付管理	45	45	43	42	42	40	43	47	45	51	49	50	542

### 3、職員研修等の状況

年　日	主な研修会や説明会等への出席状況
R1. 5. 21	山梨県介護支援専門員協会通常総会 新年度総会、ケアマネジャーと A I の未来。 桃源文化会館
R1. 5. 30	平成 31 年度甲府市居宅介護支援事業者集団指導 介護サービス事業者等の指導及び監査について 甲府市総合市民会館 3 階大会議室
R1. 6. 5	ケアマネの会 ほくとう 合同事例検討・ケアプラン研究 「薬局の役割について」「高齢者の内服管理について考える」 甲府市北東公民館 1 階会議室
R1. 8. 21～ 9. 26 合計 5 日間	介護支援専門員実務者更新研修・専門研修課程 II 介護保険制度・地域包括ケアシステムの今後の展開、リハビリテーション・福祉用具の活用・ 看取等看護サービス・認知症・医療連携・家族支援・社会資源の活用・地域密着型サービス 等の事例と演習について 桃源文化会館
R1. 8. 22	北東包括ケアマネ交流会 「地域ケア会議・自立支援方地域ケア会議とは」 相川悠遊館・2 階大ホール
R1. 8. 22	甲府市介護支援専門員協会：スキルアップ研修 課題整理総括表を学ぼう、活かそう。（あたご研究所、後藤佳苗先生） ジットセレモニー甲府 2 階 A ホール
R1. 8. 27 10. 1・10. 18 合計 6 日間	医療介護支援強化事業研修 医療保険と介護保険の共有制度、高齢者医療、障がい制度、トータルサポートマネジメント、 高齢者の栄養、口腔ケア、疾患とリハビリ、脳血管障害と精神疾患、薬の理解、相談対応に 必要な医療知識、在宅医療機器の取り扱い方法、ロコモティブ、医療連携、及び現場実習 山梨県医師会館、甲府共立病院地域連携室、のだ内科クリニック診療所等へ訪問実習
R1. 9. 18 ～R2. 2. 7 合計 6 日間	介護縦線専門員スキルアップ（グループスーパービジョン）研修会 相互に学びあう事をテーマとしたグループスーパービジョンの実践 OGSV（奥川グループスーパービジョン）式モデルの活用 (事例検討によるサポートティブなグループスーパービジョン) 伊藤健次、山梨県立大学人間 福祉学部、准教授 山梨県立大学 飯田キャンパス B 館 福祉実習室

R1. 10. 31	山梨県立北病院認知症疾患医療センター 地域関係機関と連携し、自宅や施設など様々な退院先を模索した若年性認知症の方への支援について 山梨県立北病院 2階患者食堂
R1. 10. 17	甲府市福祉保健部介護保険課及び甲府市介護サービス事業者連絡協議会研修（第17回） 日頃のケアに口腔ケアを活かそう研修 甲府市南公民館
R1. 10. 30	顔の見える関係づくり交流会、甲府市介護予防課、包括支援センター(西、北西、北東)主催 高齢者を支援する多職種の職種理解や連携 甲府市総合市民会館
R1. 11. 6	ケアマネの会ほくとう、事例検討研修会 事例をもとに課題整理総括表の活用、山梨県介護支援専門員協会、宮下貴文甲府市支部長 甲府市北東公民館
R1. 11. 21	北西地域包括ケアマネ交流会 家族支援ケアマネあるある、3事例検討会（ご家族の状況とケアマネジメントの関連） シルバーカレッジ奥湯村
R1. 11. 28	医療・介護連携学習会 「認知症の方や高齢者の意思決定支援」平田理医師患者サポートセンター長、講演 山梨勤労者医療協会駅前ビル5階会議室
R1. 12. 14 ～12. 15	日本介護支援専門員協会甲信越ブロック、日本ホスピス自宅ケア研修会 「ねがい」富士の麓でわが道をデザインする、分科会、事例発表会、講演会、親睦会など 富士急ハイランドホテルリゾートホテル、富士吉田市民会館
R2. 2. 13	主任ケアマネ交流会（山梨県介護支援専門員協会甲府支部主催） 主任ケアマネの為の育成力と対応力、中北圏域入退院連携ルールの活用：高室成幸講師 ジットセレモニー甲府ホール

### その他、実地内容や活動参加状況

月1回～ 山梨県介護支援専門員協会甲府支部運営委員会

第4土曜日 和田町いきいきサロン運営協力活動

2019/6/27 居宅介護支援事業所実地指導（甲府市）

2019/8/17 和田町のお祭り運営協力。

2019/10/6 相川地区福祉健康祭り相談ブース

2019/12/3 甲府市介護保険給付係ケアプランチェックへ事例提供





## 令和元年度事業報告書

社会福祉法人 善隣会

理事長 廣瀬朱實

〒400-0001 山梨県甲府市和田町 2948 番地の 6

TEL 055-253-7231 FAX 055-253-7228

<https://www.zenrinkai.or.jp>

E-mail honbu@zenrinkai.or.jp

令和 2 年 5 月発行